

第1部 世帯と子供の状況

第1章 調査対象世帯の概況等

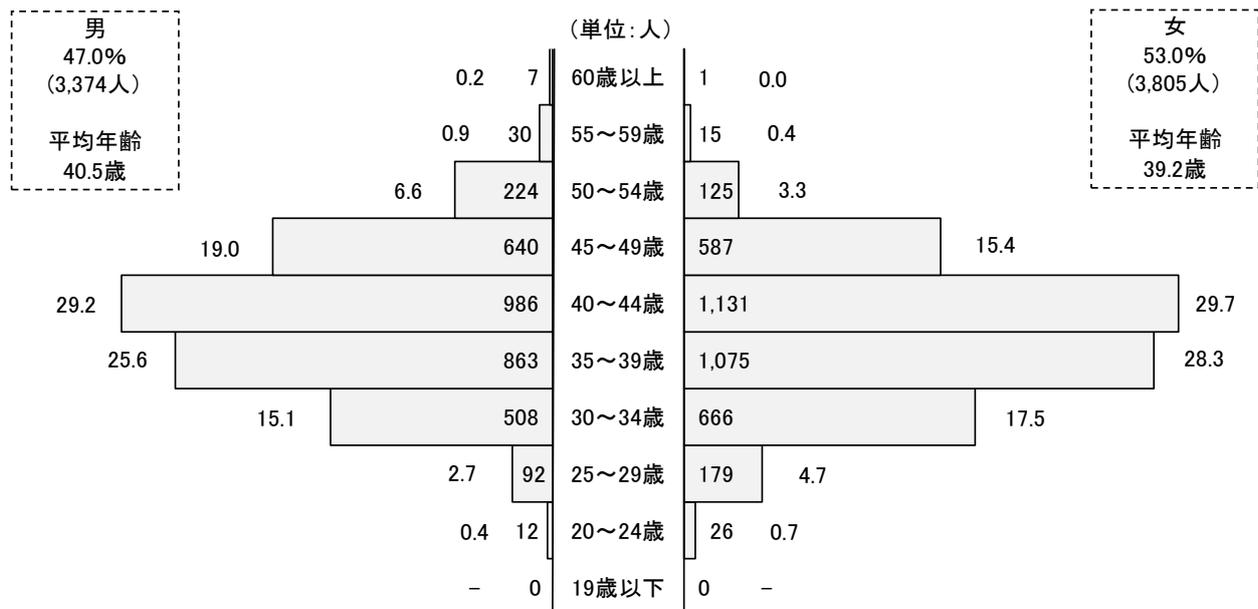
本章では、集計対象世帯である小学生までの子供を養育する3,318世帯及び20歳未満の子供を養育するひとり親543世帯を合わせた3,861世帯の概況並びにその父母(養育者)7,179人と子供6,762人の概況について述べる。

1 父母の状況

(1) 父母の状況一性・年齢階級別

父母の人数を年齢階級別にみると、男女ともに「40～44歳」が最も多く、男性は986人、女性は1,131人となっている。父母の平均年齢は男性40.5歳、女性39.2歳である。(図I-1-1)

図I-1-1 父母の状況一性・年齢階級別

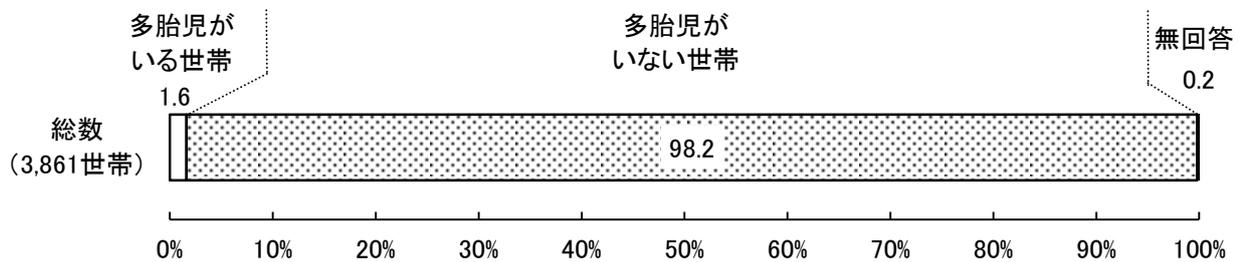


(注) 男性3,374人には、年齢無回答の人を含むため、内訳の合計と一致しない。

(3) 多胎児の状況

多胎児がいる世帯は、1.6%となっている。(図 I-1-7)

図 I-1-7 多胎児の状況

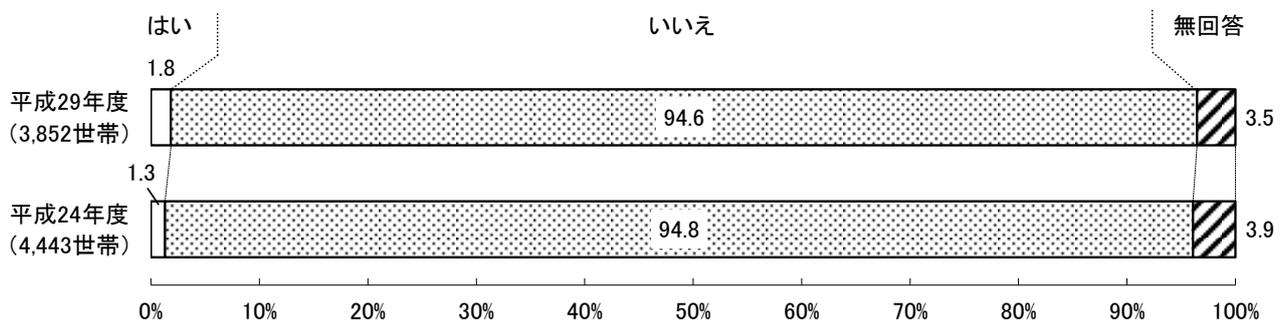


4 ステップファミリーの状況—24年度調査との比較

ステップファミリー(※)の状況は、「はい」の割合は1.8%で、24年度調査(1.3%)から0.5ポイント増加している。(図 I-1-8)

(注) ※再婚等により血縁のない親子・兄弟などのいる家庭をいう。

図 I-1-8 ステップファミリーの状況—24年度調査との比較



(注) 家族類型で、「親子」「祖父母と親子」「その他」のいずれかと回答した、3,852世帯に回答を求めた。

第1章 調査対象世帯の概況等

1-24 ステップファミリーであるか—父母の性・年齢階級別

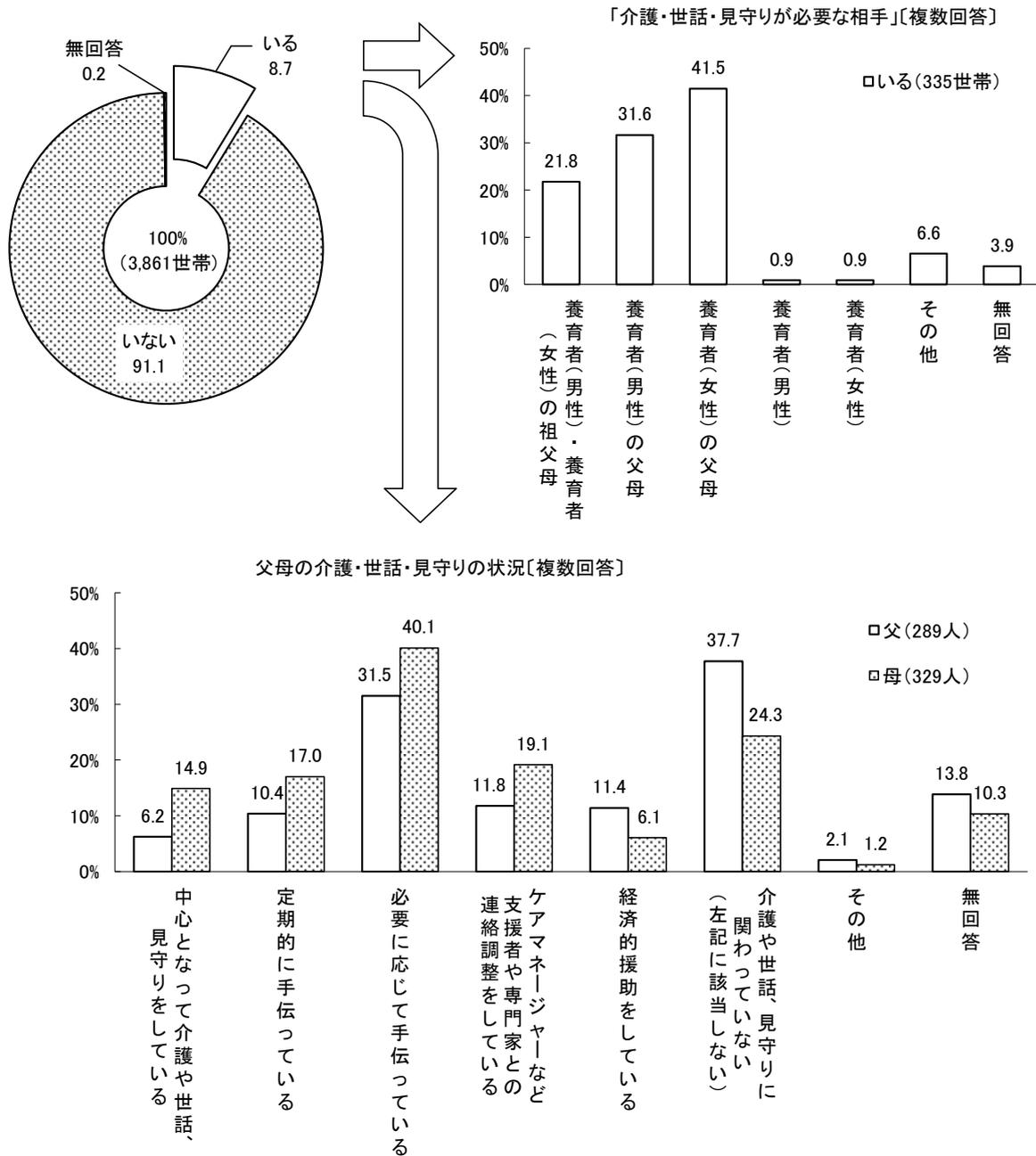
	総 数	は い	い い え	無 回 答
総数	7,164 100.0	140 2.0	6,761 94.4	263 3.7
19歳以下	-	-	-	-
20～24歳	38 100.0	1 2.6	37 97.4	-
25～29歳	270 100.0	7 2.6	250 92.6	13 4.8
30～34歳	1,173 100.0	25 2.1	1,103 94.0	45 3.8
35～39歳	1,934 100.0	34 1.8	1,838 95.0	62 3.2
40～44歳	2,115 100.0	40 1.9	1,988 94.0	87 4.1
45～49歳	1,223 100.0	25 2.0	1,154 94.4	44 3.6
50～54歳	349 100.0	6 1.7	332 95.1	11 3.2
55～59歳	43 100.0	1 2.3	41 95.3	1 2.3
60歳以上	8 100.0	1 12.5	7 87.5	-
無回答	11 100.0	-	11 100.0	-
男	3,368 100.0	69 2.0	3,171 94.2	128 3.8
19歳以下	-	-	-	-
20～24歳	12 100.0	-	12 100.0	-
25～29歳	91 100.0	-	86 94.5	5 5.5
30～34歳	508 100.0	14 2.8	476 93.7	18 3.5
35～39歳	862 100.0	16 1.9	819 95.0	27 3.1
40～44歳	985 100.0	21 2.1	921 93.5	43 4.4
45～49歳	639 100.0	13 2.0	599 93.7	27 4.2
50～54歳	224 100.0	3 1.3	214 95.5	7 3.1
55～59歳	29 100.0	1 3.4	27 93.1	1 3.4
60歳以上	7 100.0	1 14.3	6 85.7	-
無回答	11 100.0	-	11 100.0	-
女	3,796 100.0	71 1.9	3,590 94.6	135 3.6
19歳以下	-	-	-	-
20～24歳	26 100.0	1 3.8	25 96.2	-
25～29歳	179 100.0	7 3.9	164 91.6	8 4.5
30～34歳	665 100.0	11 1.7	627 94.3	27 4.1
35～39歳	1,072 100.0	18 1.7	1,019 95.1	35 3.3
40～44歳	1,130 100.0	19 1.7	1,067 94.4	44 3.9
45～49歳	584 100.0	12 2.1	555 95.0	17 2.9
50～54歳	125 100.0	3 2.4	118 94.4	4 3.2
55～59歳	14 100.0	-	14 100.0	-
60歳以上	1 100.0	-	1 100.0	-
無回答	-	-	-	-

5 介護・世話・見守りの有無及びその状況〔複数回答〕

子供以外の親族で、疾病・障害・認知症などの理由により、介護・世話・見守りが必要な人が「いる」と回答した世帯の割合は8.7%となっている。さらに、「いる」と回答した世帯の父母それぞれに対して、どの程度介護・世話・見守りに関わっているか聞いたところ、「経済的援助をしている」の割合は、父が11.4%、母は6.1%で、父の方が5.3ポイント高くなっている。

一方、「中心となって介護や世話、見守りをしている」の割合は、母が14.9%、父は6.2%で、母の方が8.7ポイント高くなっている。(図I-1-9)

図I-1-9 介護・世話・見守りの有無及びその状況〔複数回答〕



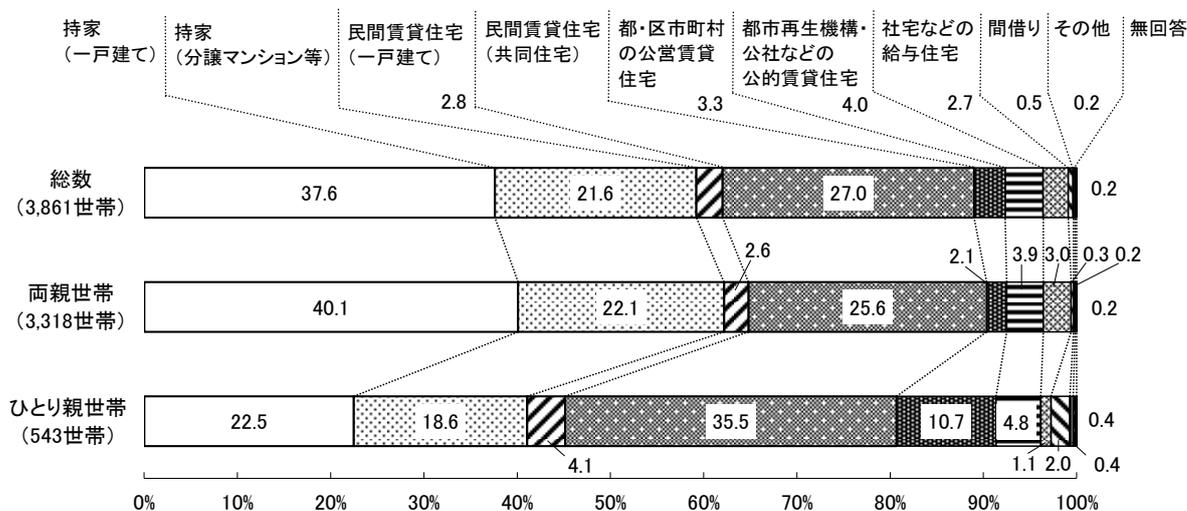
(2) 住居の種類－両親の有無別

両親世帯では「持家（一戸建て）」、ひとり親世帯では「民間賃貸住宅（共同住宅）」の割合が最も高い

住居の種類を両親の有無別にみると、両親世帯では「持家（一戸建て）」の割合が40.1%で最も高く、次いで「民間賃貸住宅（共同住宅）」の割合が25.6%となっている。

一方、ひとり親世帯では「民間賃貸住宅（共同住宅）」の割合が35.5%で最も高く、次いで「持家（一戸建て）」の割合が22.5%となっている。（図 I-1-11）

図 I-1-11 住居の種類－両親の有無別



7 父母の就労状況

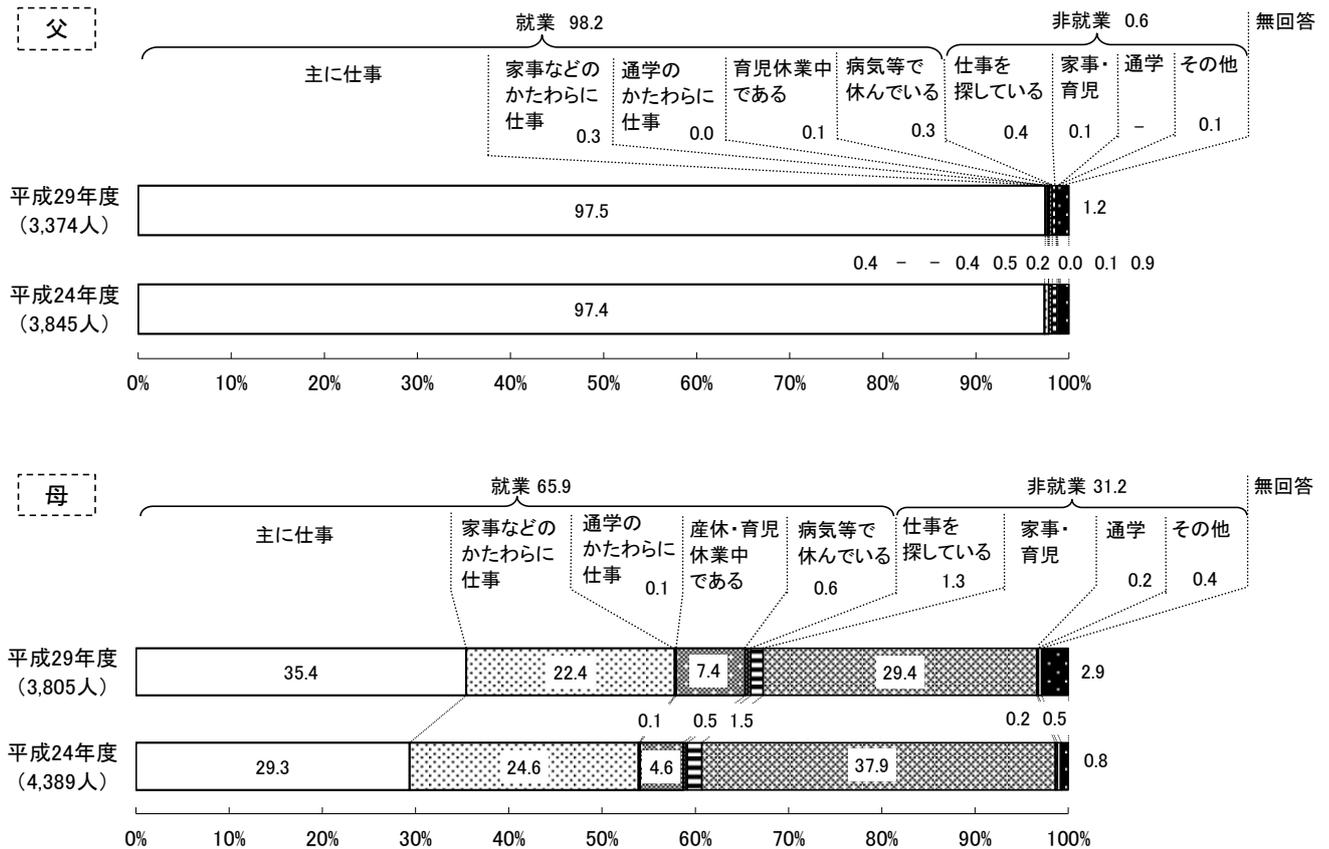
(1) 就業状況

母の「就業」の割合は、6割超

「就業」の割合は、父が98.2%、母は65.9%となっている。(図I-1-12)

(注)「就業」している人とは、就労の状況を問う設問で「主に仕事」「家事などのかたわらに仕事」「通学のかたわらに仕事」「育児休業中である」「病気等で休んでいる」と回答した人である。

図I-1-12 就業状況



(注) 統計比率を合算した比率は、実数を用いて算出しているため、各比率を単純に合算した比率とは一致しない場合がある。

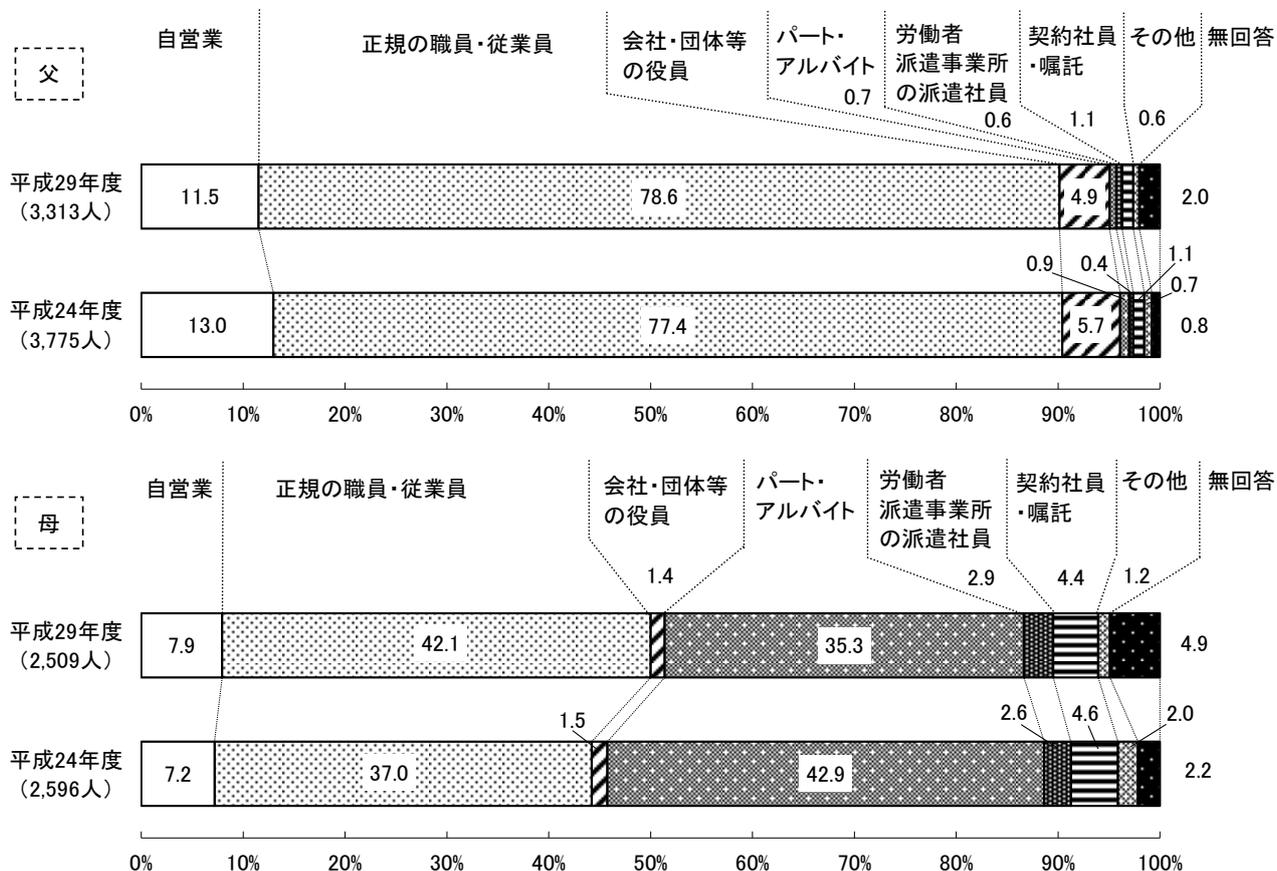
(4) 従業上の地位－24年度調査との比較

母の「正規の職員・従業員」の割合は、24年度調査から5.1ポイント増加し、4割強

就業している父母（5,822人）の従業上の地位は、父母ともに「正規の職員・従業員」の割合が最も高く、父が78.6%、母は42.1%となっている。母の「正規の職員・従業員」の割合は、24年度調査（37.0%）から5.1ポイント増加し、「パート・アルバイト」の割合は35.3%で、24年度調査（42.9%）から7.6ポイント減少している。（図I-1-15）

（注）「就業」している人とは、就労の状況を問う設問で「主に仕事」「家事などのかたわらに仕事」「通学のかたわらに仕事」「育児休業中である」「病気等で休んでいる」と回答した人である。

図I-1-15 従業上の地位－24年度調査との比較



8 父母の学歴

父母の学歴は、父母ともに卒業では「大学」の割合が最も高く、父が52.6%、母は37.8%となっている。(表 I-1-5)

表 I-1-5 父母の学歴

	総数	中学校	高等学校	専門学校	高等短期 専修学校・ 専門学校	大学	大学院	その他	無回答
父	100.0 (3,374)								
卒業	100.0 (3,313)	3.2	17.1	13.5	2.2	<u>52.6</u>	11.0	0.1	0.3
在学中	100.0 (15)	-	-	13.3	-	26.7	53.3	6.7	-
母	100.0 (3,805)								
卒業	100.0 (3,722)	2.5	18.2	17.8	19.3	<u>37.8</u>	4.0	0.2	0.1
在学中	100.0 (10)	-	20.0	10.0	10.0	50.0	10.0	-	-

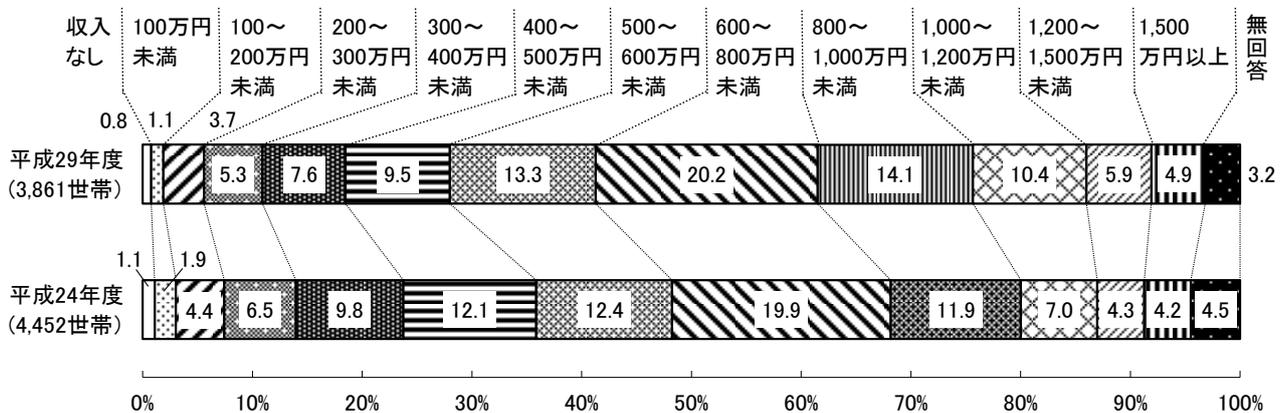
9 世帯収入の状況

(1) 世帯の年間収入－24年度調査との比較

世帯の年間収入は「600～800万円未満」の割合が最も高く、約2割

世帯の年間収入は、「600～800万円未満」の割合が20.2%で最も高く、次いで「800～1,000万円未満」が14.1%、「500～600万円未満」が13.3%となっている。(図 I-1-21)

図 I-1-21 世帯の年間収入－24年度調査との比較



(2) 世帯の年間収入—世帯類型（母子・父子世帯）別

世帯の年間収入は、両親世帯では「600～800万円未満」、ひとり親世帯では、「100～200万円未満」、「200～300万円未満」の割合が最も高い

世帯の年間収入を世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、両親世帯では「600～800万円未満」の割合が22.5%で最も高くなっている。ひとり親世帯では「100～200万円未満」、「200～300万円未満」の割合が、ともに22.5%で最も高くなっている。（表I-1-6）

表 I-1-6 世帯の年間収入—世帯類型（母子・父子世帯）別

	総数	収入なし	100万円未満	100～199万円未満	200～299万円未満	300～399万円未満	400～499万円未満	500～599万円未満	600～699万円未満	700～799万円未満	800万円未満	800～899万円未満	900～999万円未満	1000万円以上	無回答
総数	100.0 (3,861)	0.8	1.1	3.7	5.3	7.6	9.5	13.3	20.2	14.1	10.4	5.9	4.9	3.2	
両親世帯	100.0 (3,318)	0.2	0.2	0.6	2.5	6.6	9.5	14.4	<u>22.5</u>	16.1	12.0	6.7	5.6	3.2	
ひとり親世帯	100.0 (543)	4.6	6.6	<u>22.5</u>	<u>22.5</u>	13.6	9.8	6.4	6.4	2.0	0.6	1.1	0.7	3.1	
母子世帯	100.0 (487)	4.7	7.0	24.2	23.4	14.2	9.9	6.0	4.5	1.8	0.2	0.6	0.4	3.1	
父子世帯	100.0 (56)	3.6	3.6	7.1	14.3	8.9	8.9	10.7	23.2	3.6	3.6	5.4	3.6	3.6	

第1章 調査対象世帯の概況等

1-274 世帯の年間収入—ステップファミリーであるか別

	総数	収入なし	100万円未満	100万円未満	200万円未満	300万円未満	400万円未満	500万円未満	600万円未満	800万円未満	1万円未満	1万円以上	1万円以上	無回答
総数	3,852 100.0	30 0.8	43 1.1	143 3.7	205 5.3	291 7.6	366 9.5	512 13.3	778 20.2	545 14.1	400 10.4	228 5.9	188 4.9	123 3.2
はい	71 100.0	-	-	2 2.8	1 1.4	12 16.9	10 14.1	9 12.7	11 15.5	8 11.3	7 9.9	2 2.8	6 8.5	3 4.2
いいえ	3,645 100.0	28 0.8	42 1.2	139 3.8	200 5.5	270 7.4	347 9.5	488 13.4	732 20.1	517 14.2	385 10.6	213 5.8	173 4.7	111 3.0
無回答	136 100.0	2 1.5	1 0.7	2 1.5	4 2.9	9 6.6	9 6.6	15 11.0	35 25.7	20 14.7	8 5.9	13 9.6	9 6.6	9 6.6

(2) 子供を預けていて不満に思うこと〔複数回答〕－両親の有無別

両親世帯、ひとり親世帯ともに「子供が病気のときに利用できない」の割合が最も高い

子供の預け先に関して困ることや不満に思うことを両親の有無別にみると、両親世帯、ひとり親世帯ともに「子供が病気のときに利用できない」の割合が最も高くなっている（36.0%、41.6%）。

また、「夜間や休日に利用できない」の割合は、ひとり親世帯が24.7%、両親世帯は13.2%、で、ひとり親世帯の方が11.5ポイント高くなっている。

一方、「費用が高い」の割合は、両親世帯が20.3%、ひとり親世帯は7.9%で両親世帯の方が12.4ポイント高くなっている。（表I-2-5）

表I-2-5 子供を預けていて不満に思うこと〔複数回答〕－両親の有無別

	総数	を希望 か つ て 時 間 ま で 子 供	夜 間 や 休 日 に 利 用 で き な い	子 供 が 病 気 の と き に 利 用 で き な い	良 く な い 教 育 ・ 保 育 の 内 容 が	費 用 が 高 い	融 通 が き か な い 対 応 が	先 生 や 保 育 者 の 教 育 の 方 針 が 異 な る	先 生 や 保 育 者 と 養 育 者 の 交 流 が 少 な い	給 食 の 内 容 が 良 く な い	丁 寧 に 子 供 を 見 て く れ な い	通 う の に 不 便 で あ る	そ の 他	特 に な い	無 回 答
総数	100.0 (1,905)	9.9	13.7	36.3	2.4	19.7	6.5	1.0	2.5	3.4	0.8	8.1	6.9	35.6	2.0
両親世帯	100.0 (1,816)	9.9	<u>13.2</u>	<u>36.0</u>	2.5	<u>20.3</u>	6.4	1.0	2.5	3.6	0.8	8.1	7.0	35.6	2.1
ひとり親世帯	100.0 (89)	10.1	<u>24.7</u>	<u>41.6</u>	-	<u>7.9</u>	6.7	2.2	3.4	-	1.1	6.7	4.5	37.1	1.1

(3) 子育てサービスの参加状況〔複数回答〕－両親の有無別

「参加したことがある」割合は、両親世帯で6割強

子育てサービスの参加状況を両親の有無別にみると、「参加したことがある」割合は、両親世帯が64.9%、ひとり親世帯は38.0%で、両親世帯の方が26.9ポイント高くなっている。(表I-2-9)

表 I-2-9 子育てサービスの参加状況〔複数回答〕－両親の有無別

	総数	参加したことがある						参加したことはない	無回答
		(母親学級、父親学級含む)	保健所などで実施する両親学級等	児童館の母親クラブなど	子育て講座など	公民館・女性センターなどが行う	自主的な子育てグループ(育児サークル等)の活動		
総数	100.0 (2,286)	63.7	47.7	27.3	15.8	15.2	2.4	30.6	5.7
両親世帯	100.0 (2,186)	<u>64.9</u>	48.5	27.8	16.1	15.6	2.3	29.7	5.4
ひとり親世帯	100.0 (100)	<u>38.0</u>	30.0	16.0	10.0	6.0	4.0	49.0	13.0

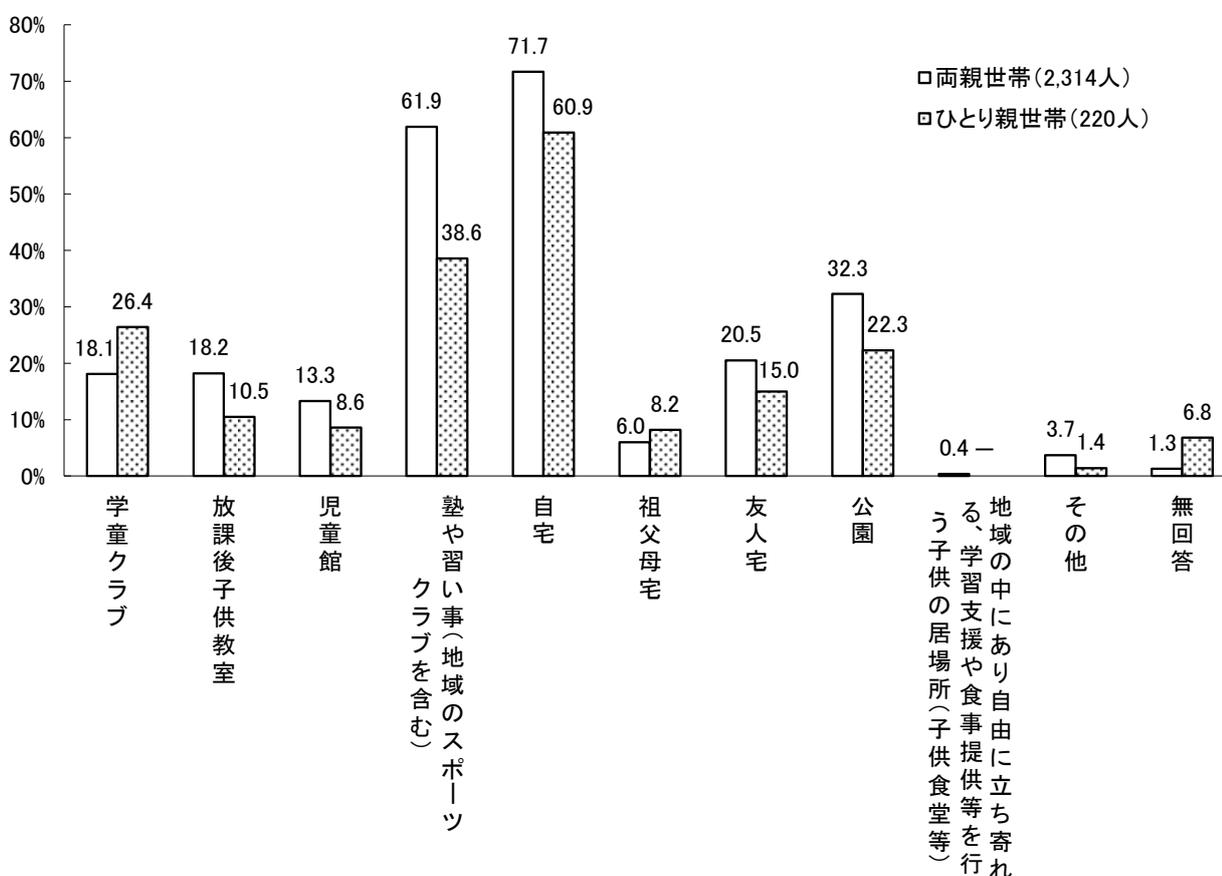
(3) 放課後過ごしている場所〔複数回答〕－両親の有無別

「学童クラブ」で過ごす割合は両親世帯が1割超、ひとり親世帯が2割超

放課後過ごしている場所を両親の有無別にみると、「自宅」の割合は、両親世帯が71.7%、ひとり親世帯は60.9%で、両親世帯の方が10.8ポイントが高くなっている。また、「塾や習い事(地域のスポーツクラブを含む)」の割合は、両親世帯が61.9%、ひとり親世帯は38.6%で、両親世帯の方が23.3ポイント高くなっている。

一方、「学童クラブ」の割合は、ひとり親世帯が26.4%、両親世帯は18.1%でひとり親世帯の方が8.3ポイント高くなっている。(図I-3-3)

図I-3-3 放課後過ごしている場所〔複数回答〕－両親の有無別



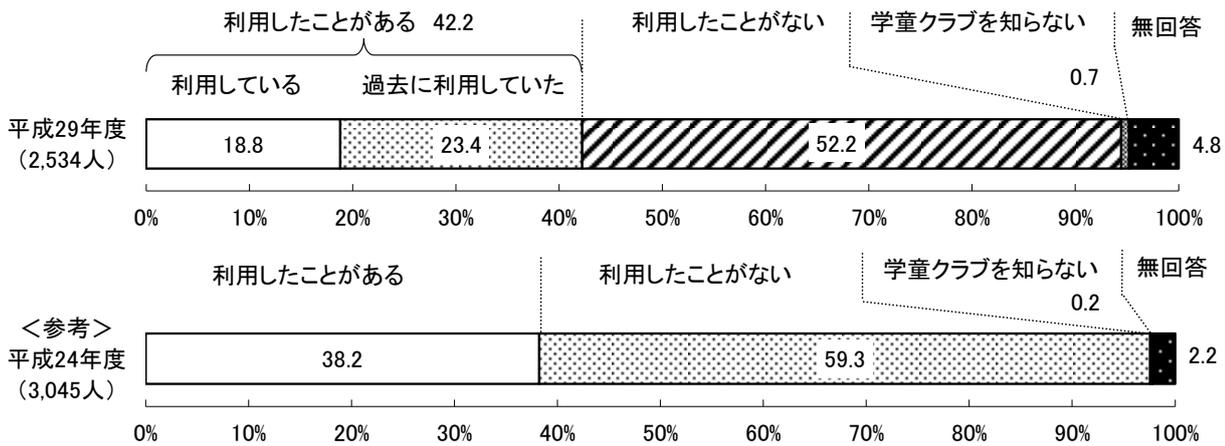
2 学童クラブの利用状況

(1) 学童クラブの利用状況

「利用したことがある」割合が4割強

小学生の子供 2,534 人について、学童クラブの利用状況を聞いたところ、「利用している」、「過去に利用していた」を合わせた「利用したことがある」の割合は42.2%となっている。(図 I-3-5)

図 I-3-5 学童クラブの利用状況

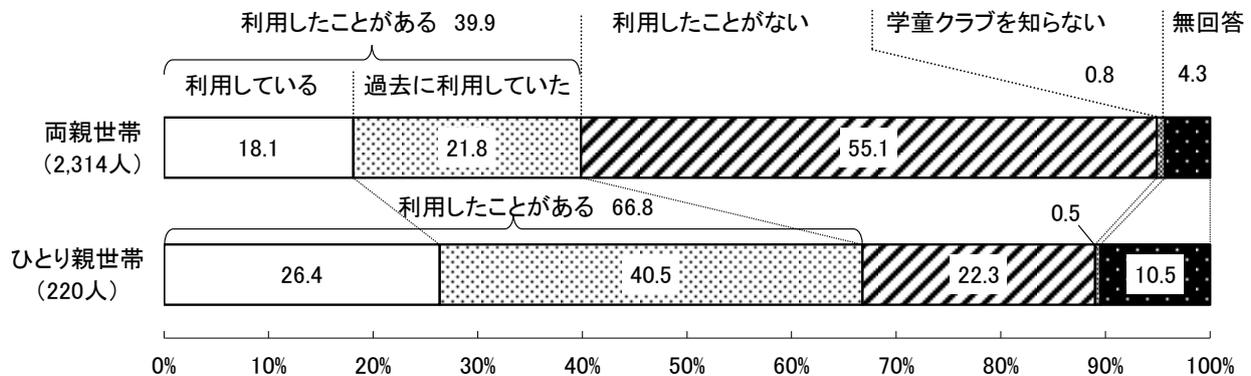


(2) 学童クラブの利用状況－両親の有無別

学童クラブを「利用したことがある」割合は、ひとり親世帯では6割超

学童クラブの利用状況を両親の有無別にみると、ひとり親世帯では、「利用している」、「過去に利用していた」を合わせた「利用したことがある」の割合は66.8%で6割を超えている。(図 I-3-6)

図 I-3-6 学童クラブの利用状況－両親の有無別



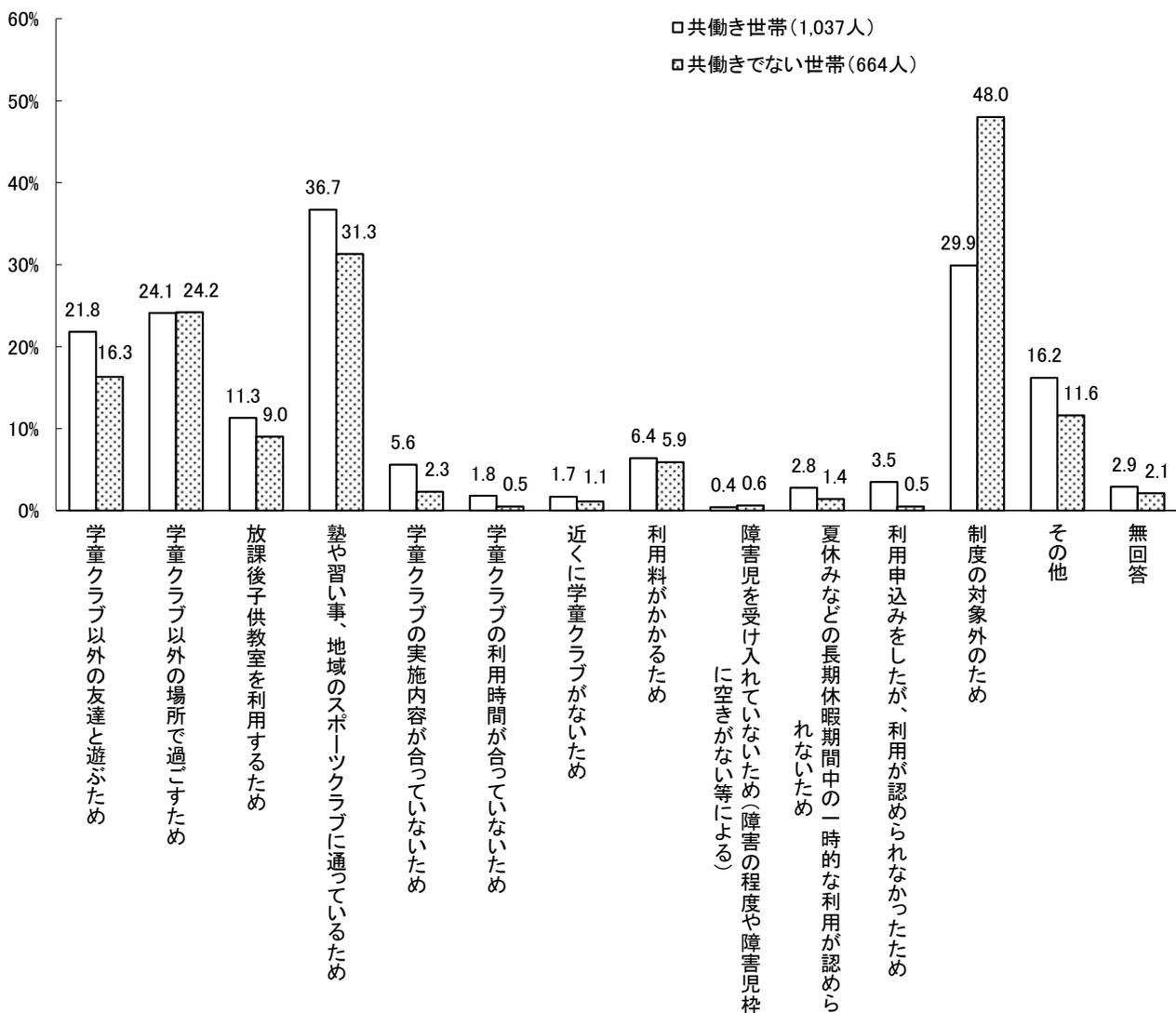
(注) 統計比率を合算した比率は、実数を用いて算出しているため、各比率を単純に合算した比率とは一致しない場合がある。

(6) 学童クラブを利用しない理由〔複数回答〕－共働きの状況別

共働き世帯では、「塾や習い事、地域のスポーツクラブに通っているため」の割合が最も高い

学童クラブを利用しない理由を共働きの状況別にみると、「塾や習い事、地域のスポーツクラブに通っているため」の割合は、共働き世帯が 36.7%、共働きでない世帯は 31.3%で、共働き世帯の方が高くなっている。(図 I-3-8)

図 I-3-8 学童クラブを利用しない理由〔複数回答〕－共働きの状況別



(注) 学童クラブを利用していない子供 1,917 人から、ひとり親世帯の子供 138 人と、両親世帯だが、共働きかどうか不明な世帯の子供 78 人を除いた 1,701 人について集計した。

(9) 学童クラブを欠席する理由〔複数回答〕－子供の学年別

2年生以下では、「親、祖父母が家にいるとき」、3年生以上では、「塾や習い事に通うとき」の割合が最も高い

学童クラブを欠席する理由を子供の学年別にみると、1、2年生では「親、祖父母が家にいるとき」の割合が最も高く（62.3%、51.3%）、3年生以上では「塾や習いごとに通うとき」が最も高くなっている（63.3%、71.0%、66.7%、42.9%）。（表 I-3-5）

表 I-3-5 学童クラブを欠席する理由〔複数回答〕－子供の学年別

	総数	塾や習い事に通うとき	学童クラブ以外の友達と遊ぶとき	親、祖父母が家にいるとき	兄弟姉妹が家にいるとき	子供が行きたがらないとき	その他	無回答
総数	100.0 (476)	51.3	15.1	54.0	3.8	11.6	13.0	2.9
1年生	100.0 (162)	39.5	6.8	<u>62.3</u>	4.3	6.2	17.3	4.3
2年生	100.0 (156)	49.4	17.3	<u>51.3</u>	3.8	12.8	12.2	2.6
3年生	100.0 (109)	<u>63.3</u>	16.5	54.1	3.7	12.8	8.3	1.8
4年生	100.0 (31)	<u>71.0</u>	25.8	35.5	3.2	16.1	12.9	-
5年生	100.0 (6)	<u>66.7</u>	66.7	16.7	-	50.0	-	16.7
6年生	100.0 (7)	<u>42.9</u>	28.6	42.9	-	28.6	14.3	-

第2部 20歳未満の子供を養育するひとり親世帯

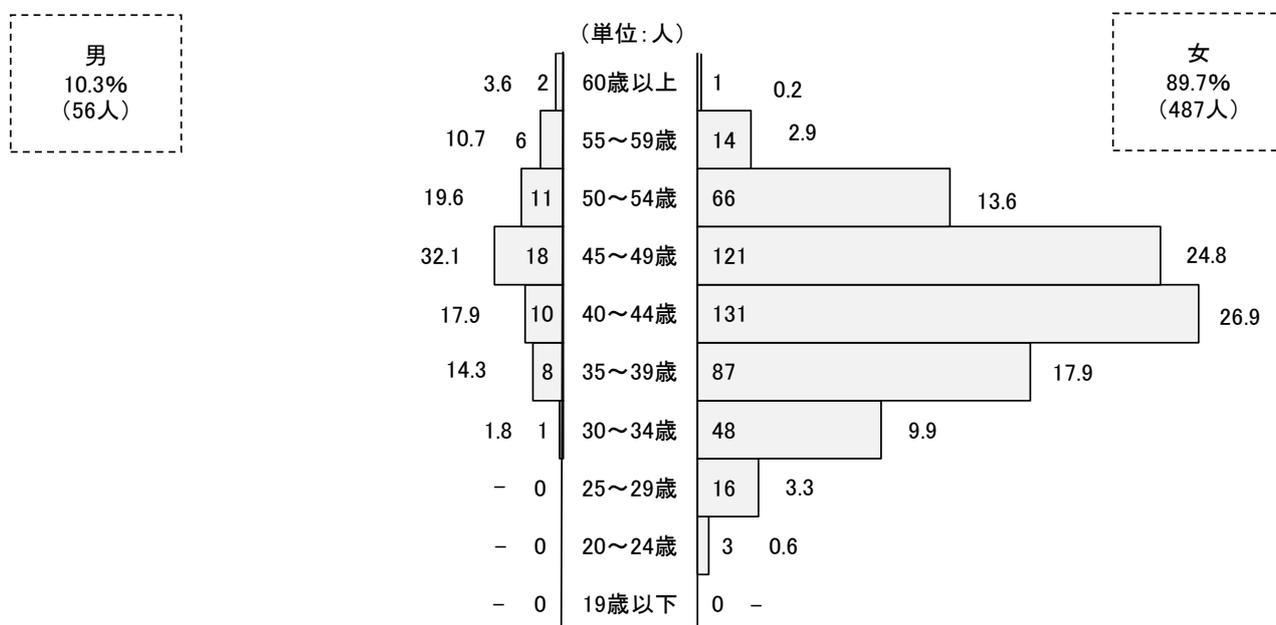
第1章 調査対象世帯の概況

本章では、20歳未満の子供を養育するひとり親世帯 543 世帯の概況並びにその子供 874 人の概況について述べる。

1 父母の状況－性・年齢階級別

ひとり親世帯の父母の人数を年齢階級別にみると、父は「45～49歳」が18人で最も多く、母は「40～44歳」が131人で最も多くなっている。(図Ⅱ-1-1)

図Ⅱ-1-1 父母の状況－性・年齢階級別

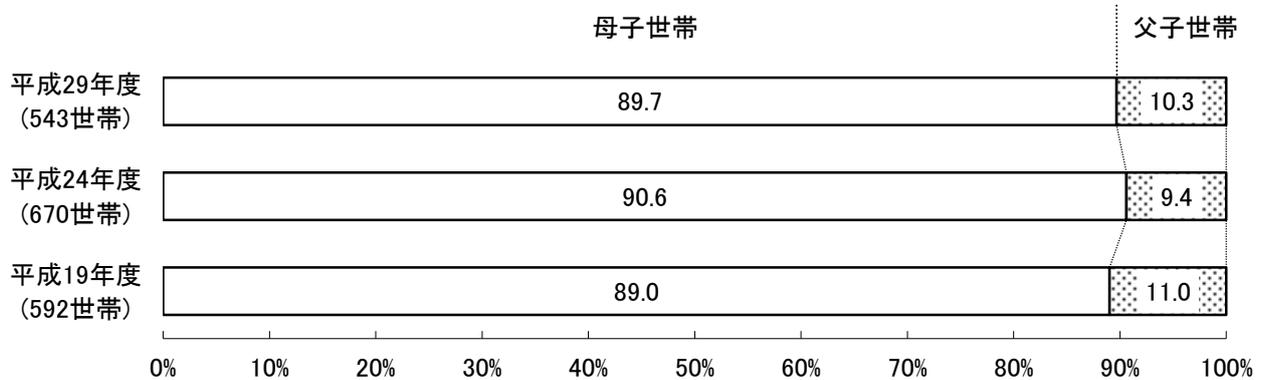


2 世帯の状況

(1) 世帯類型（母子・父子世帯）－過去調査との比較

世帯類型（母子・父子世帯）は、「母子世帯」が 89.7%、「父子世帯」が 10.3%となっている。（図Ⅱ-1-2）

図Ⅱ-1-2 世帯類型（母子・父子世帯）－過去調査との比較



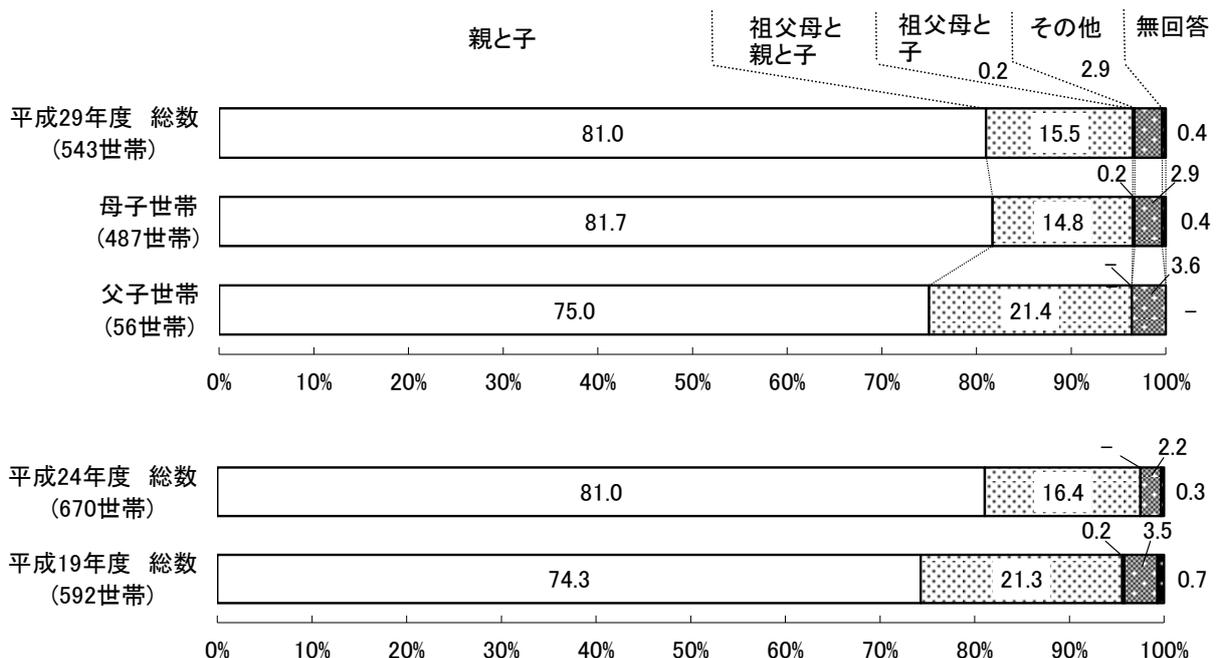
(2) 家族類型－世帯類型（母子・父子世帯）別、過去調査との比較

家族類型は「親と子」の割合が8割強

家族類型は、「親と子」の割合が 81.0%で、24年度調査（81.0%）と同様の数値になっている。

世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、「親と子」の割合は、母子世帯が 81.7%、父子世帯は 75.0%となっている。（図Ⅱ-1-3）

図Ⅱ-1-3 家族類型－世帯類型（母子・父子世帯）別、過去調査との比較

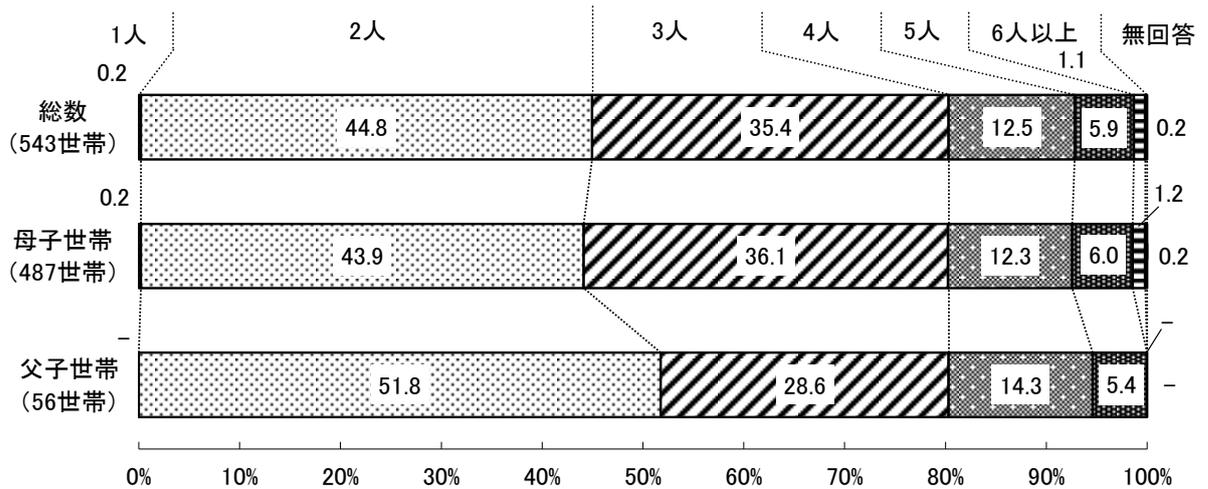


(3) 世帯人員—世帯類型（母子・父子世帯）別

世帯人員は「2人」の割合が最も高く、4割強

世帯人員は、「2人」の割合が44.8%で最も高く、次いで「3人」が35.4%となっている。
世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、「2人」の割合は、母子世帯が43.9%、父子世帯は51.8%となっている。（図Ⅱ-1-4）

図Ⅱ-1-4 世帯人員—世帯類型（母子・父子世帯）別

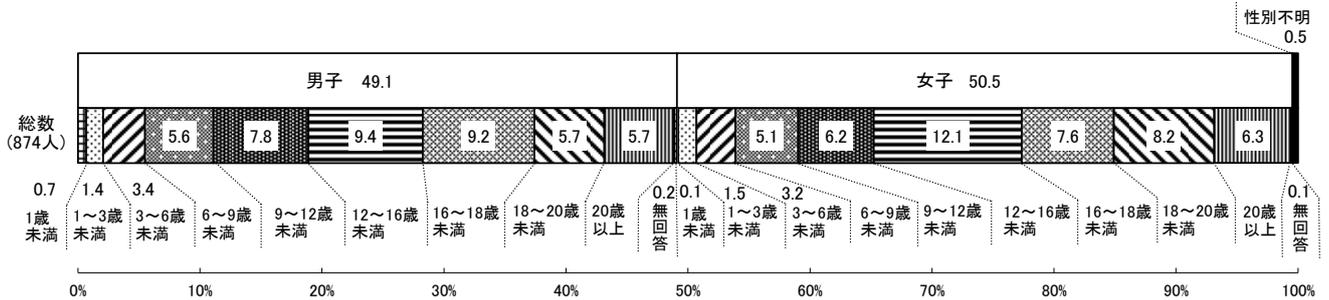


3 子供の状況

(1) 子供の性・年齢階級

子供の総数は874人で、男子49.1%、女子50.5%である。（図Ⅱ-1-5）

図Ⅱ-1-5 子供の性・年齢階級

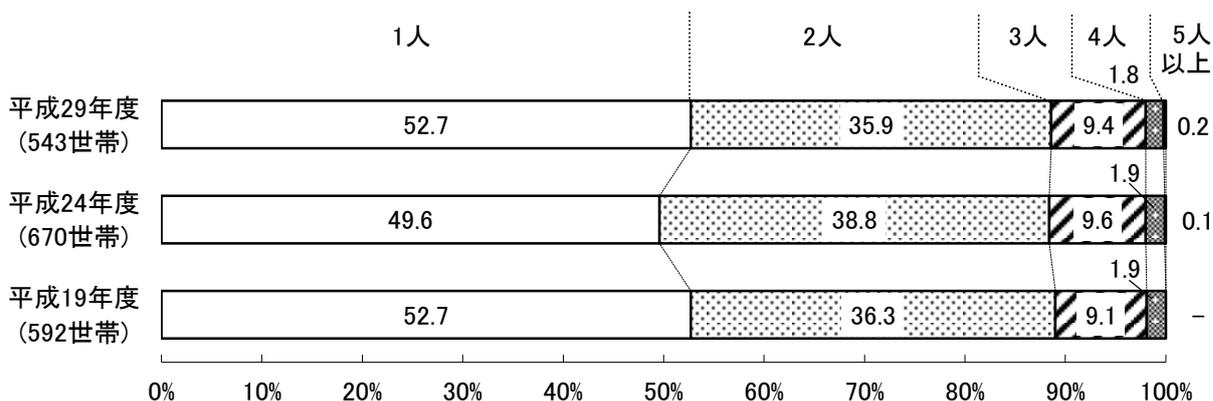


(2) 子供の人数－過去調査との比較

子供の人数は「1人」の割合が最も高く5割強

子供の人数は、「1人」の割合が52.7%で最も高く、次いで「2人」が35.9%となっている。
(図Ⅱ-1-6)

図Ⅱ-1-6 子供の人数－過去調査との比較



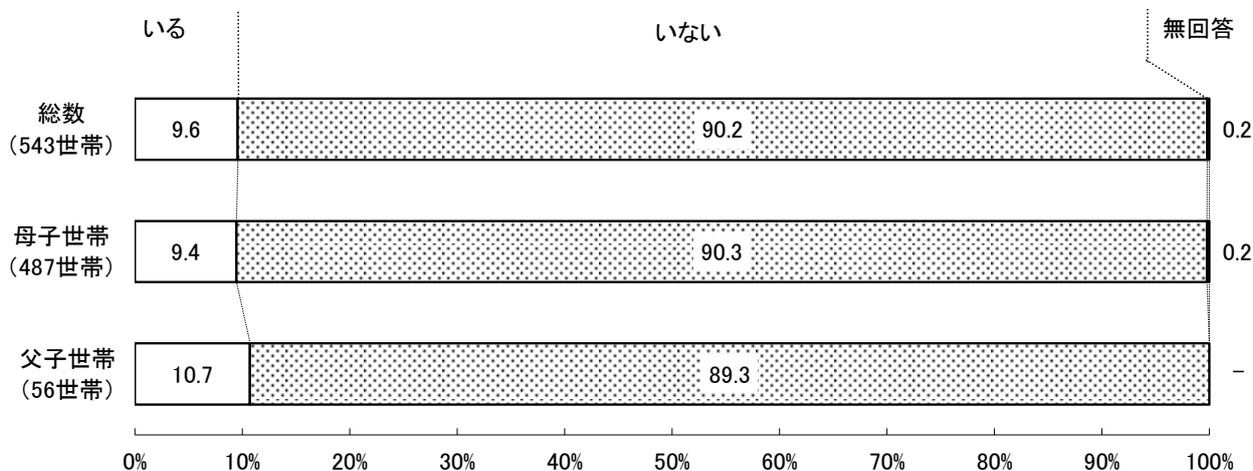
4 介護・世話・見守りの有無－世帯類型（母子・父子世帯）別

介護・世話・見守りが必要な人が「いる」の割合は約1割

子供以外の親族で、疾病・障害・認知症などの理由により、介護・世話・見守りが必要な人が「いる」と回答した世帯の割合は9.6%となっている。

世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、「いる」の割合は、母子世帯が9.4%、父子世帯は10.7%となっている。(図Ⅱ-1-7)

図Ⅱ-1-7 介護・世話・見守りの有無－世帯類型（母子・父子世帯）別



5 住居の状況

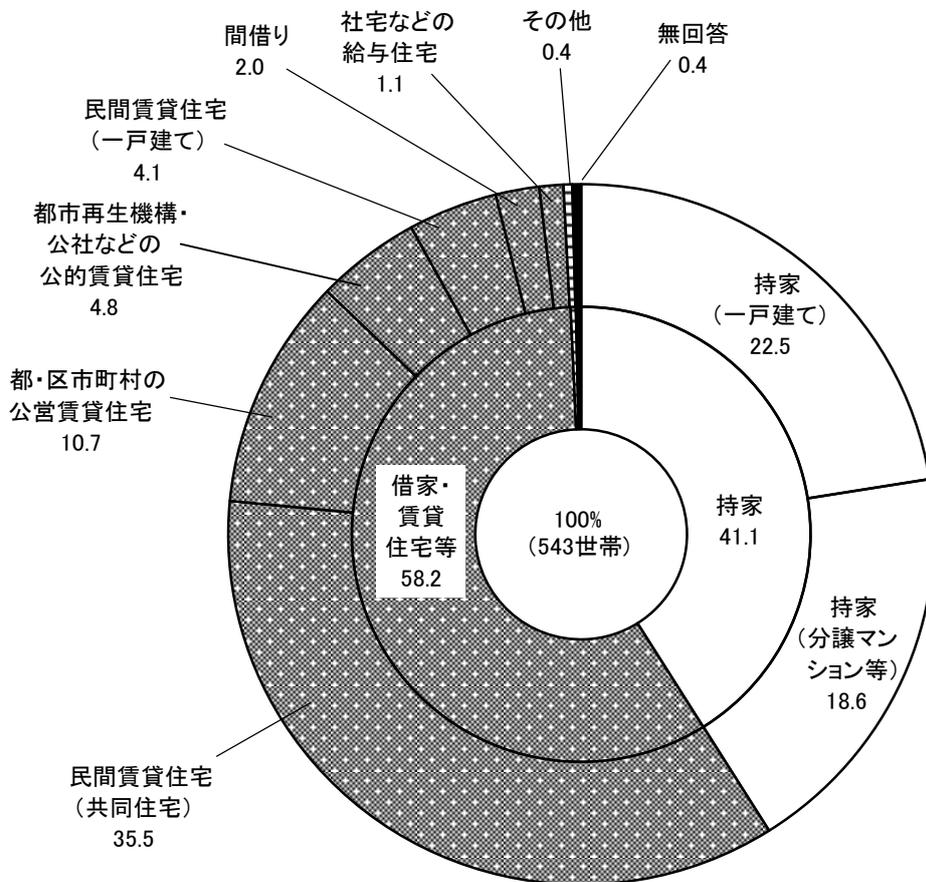
(1) 住居の種類

「借家・賃貸住宅等」の割合は5割超

住居の種類を「持家」か「借家・賃貸住宅等」で分けると、「持家」の割合が41.1%、「借家・賃貸住宅等」は58.2%となっている。

住居の種類は「民間賃貸住宅（共同住宅）」の割合が35.5%で最も高く、次いで「持家（一戸建て）」が22.5%となっている。（図Ⅱ-1-8）

図Ⅱ-1-8 住居の種類



(2) 住居の種類－世帯類型（母子・父子世帯）別

「持家」の割合は、母子世帯では約4割、父子世帯では5割超

住居の種類を世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、母子世帯では、「持家」の割合が39.4%、「借家・賃貸住宅等」は60.0%、父子世帯では、「持家」の割合が55.4%、「借家・賃貸住宅等」は42.9%となっている。

母子世帯では「民間賃貸住宅（共同住宅）」の割合が36.6%、「持家（一戸建て）」は20.9%となっている。父子世帯では「持家（一戸建て）」の割合が35.7%、「民間賃貸住宅（共同住宅）」は26.8%となっている。（表Ⅱ-1-1）

表Ⅱ-1-1 住居の種類－世帯類型（母子・父子世帯）別

	総数	持家			借家・賃貸住宅等	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（共同住宅）	都・区市町村の公営賃貸住宅	都市再生機構・公社などの公的賃貸住宅	社宅などの給与住宅	間借り	その他	無回答
		持家（一戸建て）	持家（分譲マンション等）										
総数	100.0 (543)	41.1	22.5	18.6	58.2	4.1	35.5	10.7	4.8	1.1	2.0	0.4	0.4
母子世帯	100.0 (487)	<u>39.4</u>	<u>20.9</u>	18.5	<u>60.0</u>	4.3	<u>36.6</u>	11.1	4.9	0.8	2.3	0.2	0.4
父子世帯	100.0 (56)	<u>55.4</u>	<u>35.7</u>	19.6	<u>42.9</u>	1.8	<u>26.8</u>	7.1	3.6	3.6	-	1.8	-

(3) 子供部屋の有無－世帯類型（子供の就学状況）別

子供部屋が「なし」の割合は3割超

子供部屋の有無は、「個室あり」の割合が44.8%、「なし」は38.5%となっている。

子供部屋の有無を世帯類型（子供の就学状況）別にみると、「個室あり」の割合は、小学生以下の子供がいない世帯が61.4%、小学生以下の子供がいる世帯は26.9%で、小学生以下の子供がいない世帯の方が34.5ポイント高くなっている。（表Ⅱ-1-2）

表Ⅱ-1-2 子供部屋の有無－世帯類型（子供の就学状況）別

	総数	個室あり	他の兄弟姉妹と共用	個室ありの一部の子供に	なし	無回答
総数	100.0 (543)	<u>44.8</u>	8.7	7.0	<u>38.5</u>	1.1
小学生以下の子供がいる世帯	100.0 (260)	<u>26.9</u>	9.2	8.1	55.0	0.8
就学前の子供のみがいる世帯	100.0 (64)	12.5	-	-	85.9	1.6
就学前と小学生の子供がいる世帯	100.0 (23)	17.4	34.8	-	47.8	-
就学前と小学生と中学生以上の子供がいる世帯	100.0 (4)	-	50.0	25.0	25.0	-
小学生の子供のみがいる世帯	100.0 (106)	33.0	2.8	0.9	62.3	0.9
小学生と中学生以上の子供がいる世帯	100.0 (55)	36.4	14.5	30.9	18.2	-
就学前と中学生以上の子供がいる世帯	100.0 (8)	37.5	37.5	25.0	-	-
小学生以下の子供がいない世帯	100.0 (272)	<u>61.4</u>	8.1	5.5	23.5	1.5

6 父母の就労状況

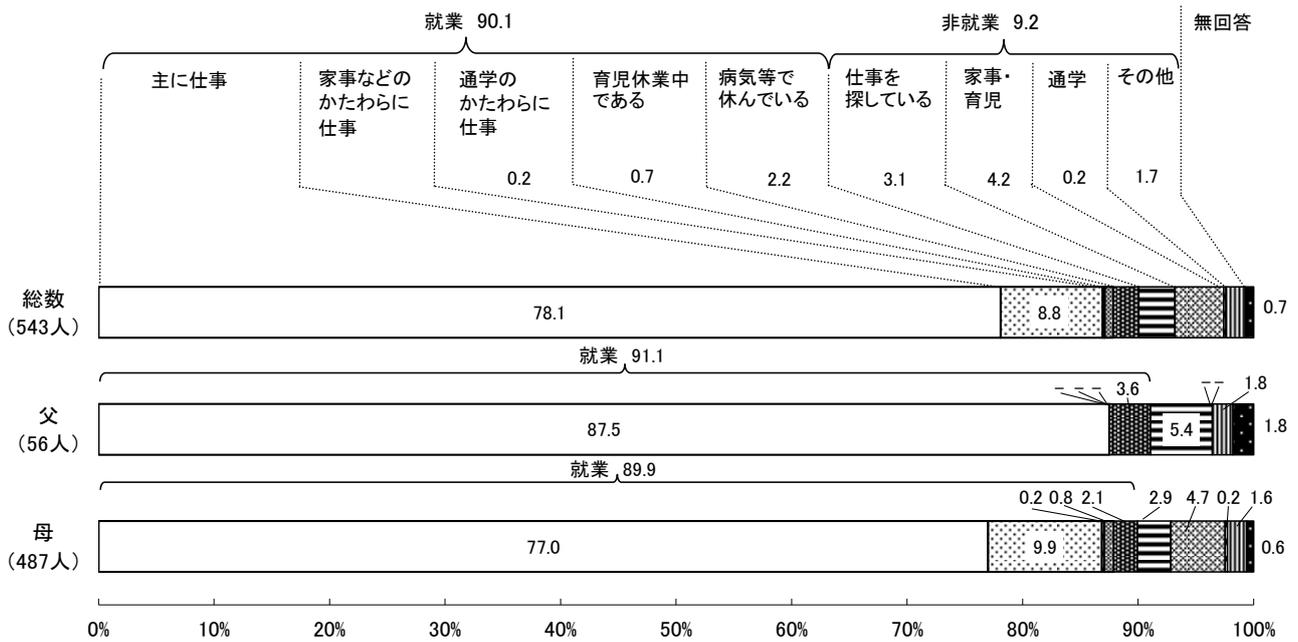
(1) 就業状況

「就業」の割合は、父は9割強、母は約9割

「就業」の割合は、父が91.1%、母は89.9%となっている。(図Ⅱ-1-9)

(注) 「就業」している人とは、就労の状況を問う設問で「主に仕事」「家事などのかたわらに仕事」「通学のかたわらに仕事」「育児休業中である」「病気等で休んでいる」と回答した人である。

図Ⅱ-1-9 就業状況



(注) 統計比率を合算した比率は、実数を用いて算出しているため、各比率を単純に合算した比率とは一致しない場合がある。

(2) 従業上の地位－24年度調査との比較

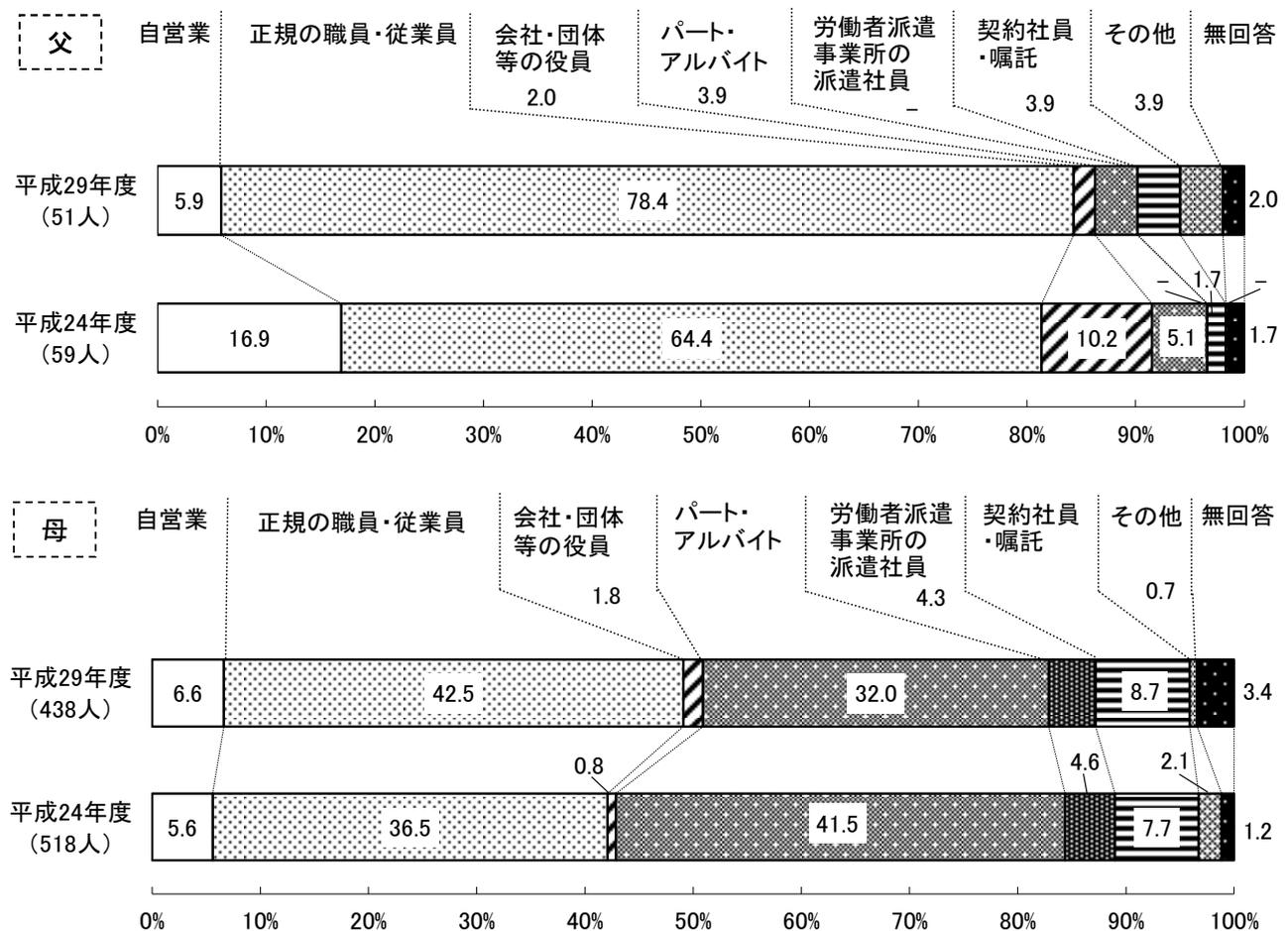
母の「正規の職員・従業員」の割合は6.0ポイント増加し、4割強

就業している父母（489人）の従業上の地位は、父母ともに「正規の職員・従業員」の割合が最も高く、父が78.4%、母は42.5%となっている。

母の「パート・アルバイト」の割合は32.0%で、24年度調査（41.5%）から9.5ポイント低くなっている。一方、「正規の職員・従業員」の割合は42.5%で、24年度調査（36.5%）から6.0ポイント増加している。（図Ⅱ-1-10）

（注）「就業」している人とは、就労の状況を問う設問で「主に仕事」「家事などのかたわらに仕事」「通学のかたわらに仕事」「育児休業中である」「病気等で休んでいる」と回答した人である。

図Ⅱ-1-10 従業上の地位－24年度調査との比較



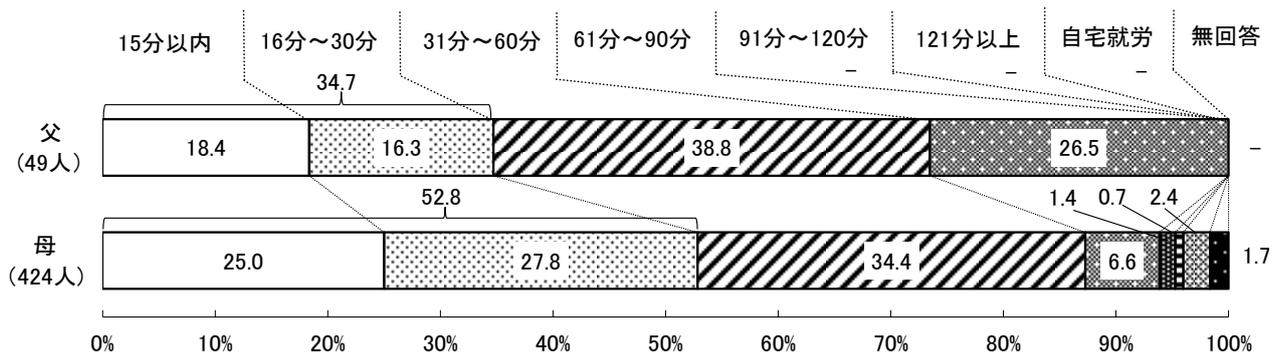
(3) 通勤時間

働いている父母（473人）の通勤時間は、父母ともに「31分～60分」の割合が最も高くなっており、父が38.8%、母は34.4%となっている。

「15分以内」、「16分～30分」を合わせた「30分以内」の割合は、父が34.7%、母は52.8%となっている。（図Ⅱ-1-11）

（注）「働いている」人とは、就労の状況を問う設問で「主に仕事」「家事などのかたわらに仕事」「通学のかたわらに仕事」と回答した人である。

図Ⅱ-1-11 通勤時間



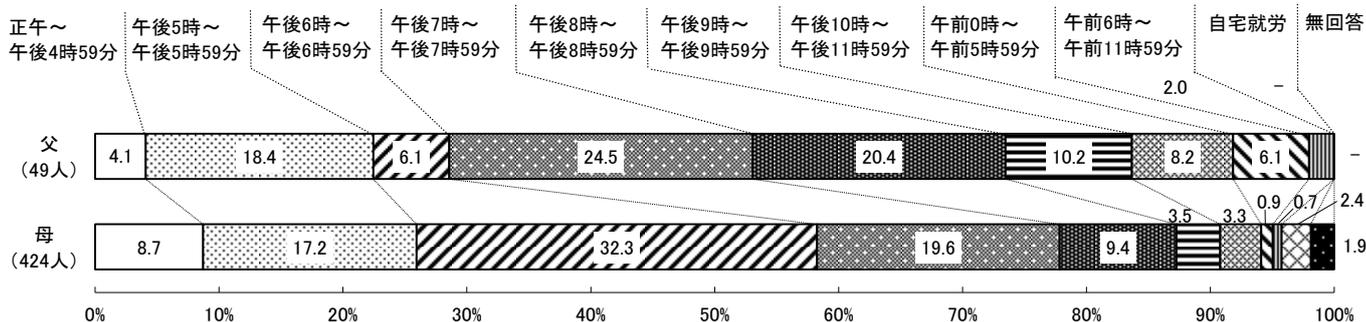
(4) 帰宅時間

働いている父母(473人)の帰宅時間は、父は、「午後7時～午後7時59分」の割合が24.5%で最も高く、次いで「午後8時～午後8時59分」が20.4%となっている。

母は、「午後6時～午後6時59分」の割合が32.3%で最も高く、次いで「午後7時～午後7時59分」が19.6%となっている。(図Ⅱ-1-12)

(注)「働いている」人とは、就労の状況を問う設問で「主に仕事」「家事などのかたわらに仕事」「通学のかたわらに仕事」と回答した人である。

図Ⅱ-1-12 帰宅時間



7 父母の学歴

父母の学歴は、卒業では、父は「大学」の割合が30.9%で最も高く、母は「高等学校」の割合が31.9%で最も高くなっている。(表Ⅱ-1-3)

表Ⅱ-1-3 父母の学歴

	総数	中学校	高等学校	専門学校	高等短期 専門学校・ 大学	大学	大学院	その他	無回答
父	100.0 (56)								
卒業	100.0 (55)	12.7	27.3	16.4	7.3	<u>30.9</u>	3.6	-	1.8
在学中	100.0 (-)	-	-	-	-	-	-	-	-
母	100.0 (487)								
卒業	100.0 (474)	7.8	<u>31.9</u>	18.1	21.5	17.7	2.1	0.4	0.4
在学中	100.0 (5)	-	40.0	-	20.0	40.0	-	-	-

8 世帯収入の状況

(1) 世帯の年間収入—世帯類型（母子・父子世帯）別、24年度調査との比較

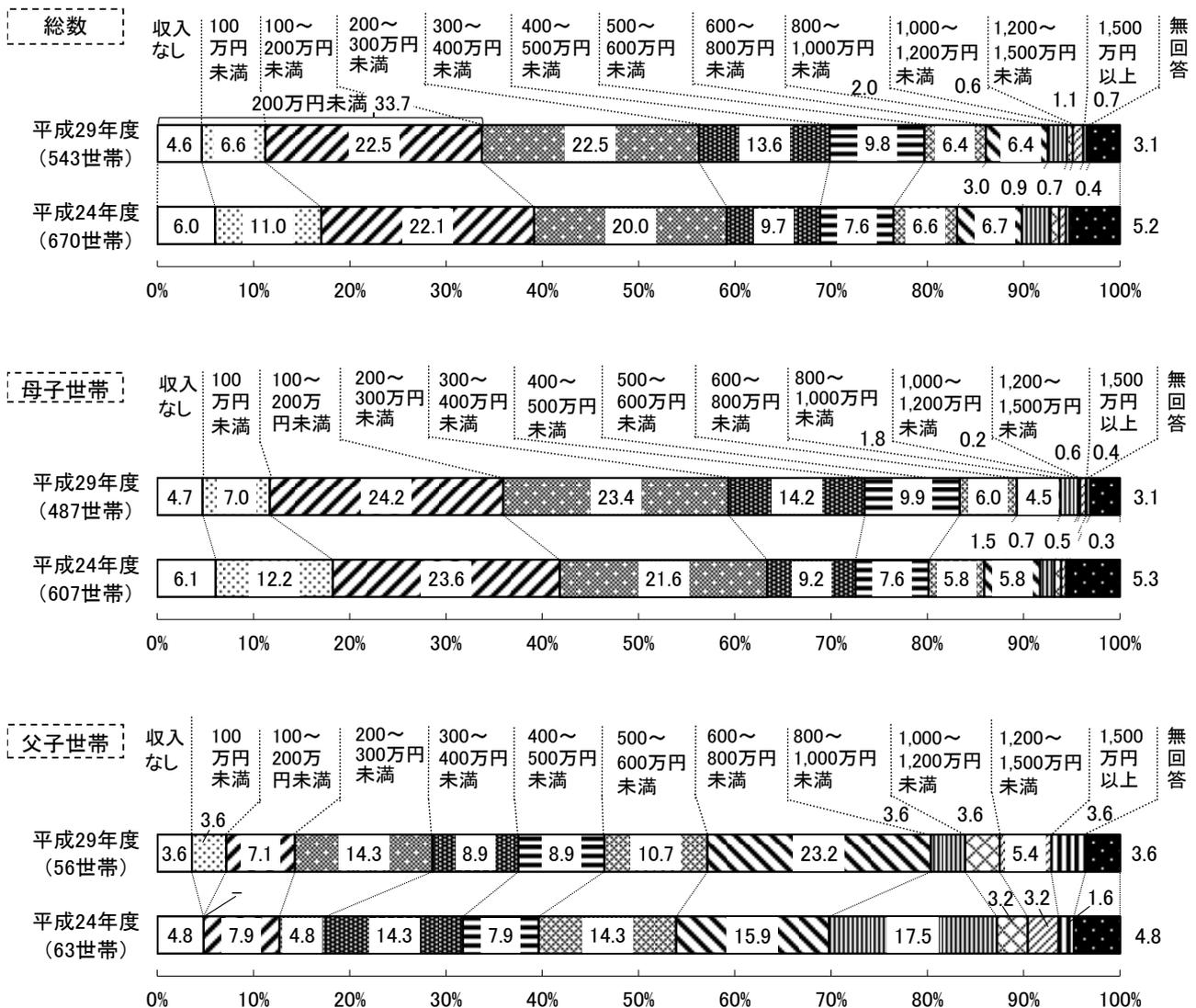
年収「200万円未満」の世帯が3割強

年間収入は、「100～200万円未満」と「200～300万円未満」の割合が22.5%で最も高く、次いで「300～400万円未満」が13.6%となっている。「収入なし」、「100万円未満」、「100～200万円未満」を合わせた「200万円未満」の割合は33.7%となっている。

年間収入を世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、母子世帯では「100～200万円未満」の割合が24.2%で最も高く、次いで「200～300万円未満」が23.4%、「300～400万円未満」が14.2%となっている。

父子世帯では、「600～800万円未満」の割合が23.2%で最も高く、次いで「200～300万円未満」が14.3%、「500～600万円未満」が10.7%となっている。（図Ⅱ-1-13）

図Ⅱ-1-13 世帯の年間収入—世帯類型（母子・父子世帯）別、24年度調査との比較



(2) 世帯の年間収入－父母の従業上の地位別

正規の職員・従業員では、父は「600～800万円未満」が、母は「200～300万円未満」が最も高い

年間収入を父母の従業上の地位別にみると、父は正規の職員・従業員では「600～800万円未満」の割合が27.5%で最も高くなっている。

母は、正規の職員・従業員では「200～300万円未満」の割合が21.5%で最も高く、パート・アルバイトでは「100～200万円未満」の割合が47.1%で最も高くなっている。(表Ⅱ-1-4)

表Ⅱ-1-4 世帯の年間収入－父母の従業上の地位別

	総数	収入なし	父											無回答
			100万円未満	200万円未満	300万円未満	400万円未満	500万円未満	600万円未満	800万円未満	1000万円未満	1000万円以上	1000万円以上	1000万円以上	
総数	100.0 (56)	3.6	3.6	7.1	14.3	8.9	8.9	10.7	23.2	3.6	3.6	5.4	3.6	3.6
就業	100.0 (51)	2.0	2.0	3.9	13.7	9.8	9.8	11.8	25.5	3.9	3.9	5.9	3.9	3.9
自営業	100.0 (3)	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-
正規の職員・従業員	100.0 (40)	-	2.5	-	15.0	5.0	12.5	12.5	<u>27.5</u>	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
会社・団体等の役員	100.0 (1)	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
パート・アルバイト	100.0 (2)	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
労働者派遣事業所の派遣社員	100.0 (-)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
契約社員・嘱託	100.0 (2)	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
非就業	100.0 (4)	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	総数	収入なし	母											無回答
			100万円未満	200万円未満	300万円未満	400万円未満	500万円未満	600万円未満	800万円未満	1000万円未満	1000万円以上	1000万円以上	1000万円以上	
総数	100.0 (487)	4.7	7.0	24.2	23.4	14.2	9.9	6.0	4.5	1.8	0.2	0.6	0.4	3.1
就業	100.0 (438)	2.7	6.4	24.0	24.2	14.4	10.7	6.6	5.0	2.1	0.2	0.7	0.5	2.5
自営業	100.0 (29)	6.9	6.9	20.7	20.7	17.2	10.3	-	6.9	3.4	-	3.4	3.4	-
正規の職員・従業員	100.0 (186)	1.1	-	8.1	<u>21.5</u>	19.9	21.0	12.9	8.1	3.8	0.5	1.1	0.5	1.6
会社・団体等の役員	100.0 (8)	-	-	12.5	25.0	37.5	-	-	25.0	-	-	-	-	-
パート・アルバイト	100.0 (140)	2.9	14.3	<u>47.1</u>	24.3	5.7	2.1	-	0.7	-	-	-	-	2.9
労働者派遣事業所の派遣社員	100.0 (19)	-	10.5	15.8	42.1	10.5	5.3	5.3	5.3	-	-	-	-	5.3
契約社員・嘱託	100.0 (38)	-	2.6	31.6	34.2	18.4	2.6	5.3	2.6	-	-	-	-	2.6
非就業	100.0 (46)	21.7	13.0	26.1	17.4	13.0	2.2	-	-	-	-	-	-	6.5

(3) 主な世帯収入の種類—世帯類型（母子・父子世帯）別

「賃金・給料」が7割超

主な世帯収入の種類は、「賃金・給料」の割合が77.5%で最も高く、次いで「年金・恩給」の割合が4.6%となっている。

主な世帯収入の種類を世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、母子世帯では「賃金・給料」の割合が76.4%で最も高く、次いで「年金・恩給」が4.9%となっている。父子世帯では、「賃金・給料」の割合が87.5%で最も高く、次いで「事業所得」が3.6%となっている。（表Ⅱ-1-5）

表Ⅱ-1-5 主な世帯収入の種類—世帯類型（母子・父子世帯）別

	総数	賃金・給料	事業所得	家賃・地代・利子・配当	仕送り	養育費・慰謝料	年金・恩給	生活保護	その他の社会保障給付金	雇用保険	その他の収入	なし	無回答
総数	100.0 (543)	<u>77.5</u>	3.1	-	1.3	2.0	<u>4.6</u>	2.9	3.1	0.6	0.9	0.9	2.9
母子世帯	100.0 (487)	<u>76.4</u>	3.1	-	1.4	2.3	<u>4.9</u>	3.1	3.3	0.6	0.8	0.8	3.3
父子世帯	100.0 (56)	<u>87.5</u>	<u>3.6</u>	-	-	-	1.8	1.8	1.8	-	1.8	1.8	-

第2章 ひとり親世帯になった当時、現在の状況

1 ひとり親世帯になってからの年数—世帯類型（母子・父子世帯）別、24年度調査との比較

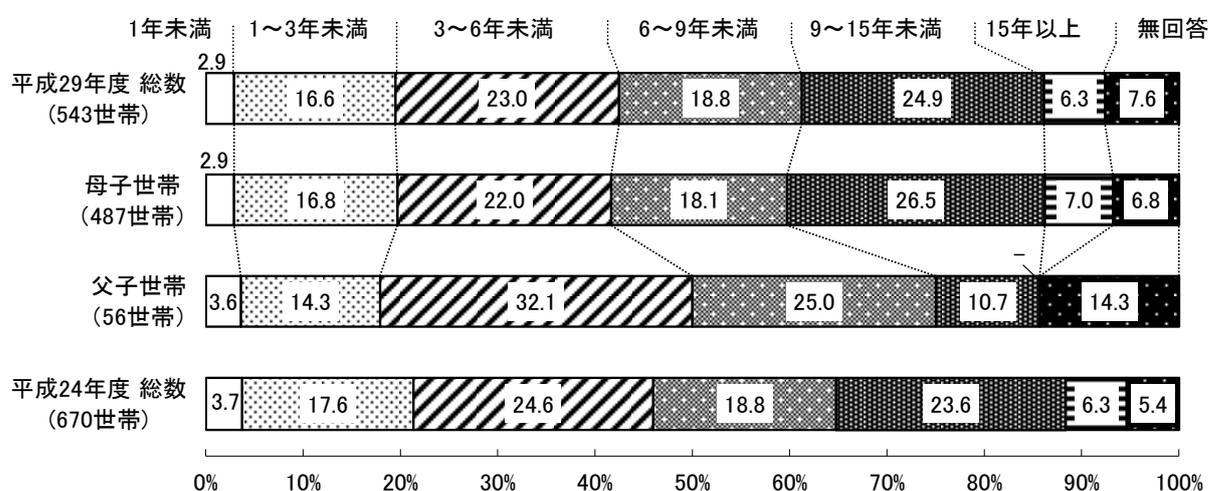
「9～15年未満」の割合が最も高く、2割強

ひとり親になってからの年数を聞いたところ、「9～15年未満」の割合が24.9%で最も高く、次いで「3～6年未満」が23.0%となっている。

母子世帯では、「9～15年未満」の割合が26.5%で最も高く、父子世帯では「3～6年未満」の割合が32.1%で最も高くなっている。（図Ⅱ-2-1）

図Ⅱ-2-1 ひとり親世帯になってからの年数

—世帯類型（母子・父子世帯）別、24年度調査との比較



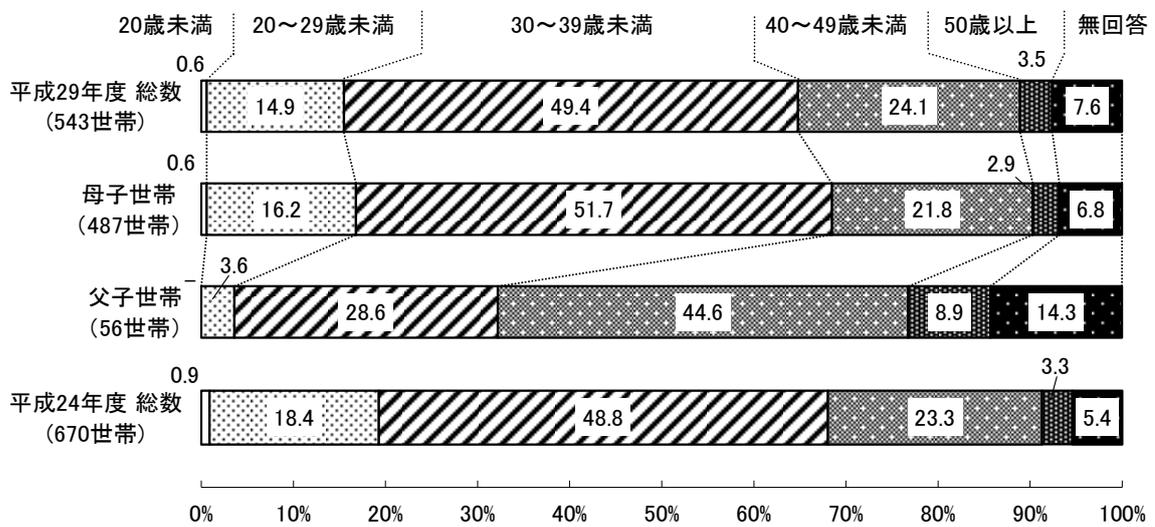
2 ひとり親世帯になったときの親の年齢—世帯類型（母子・父子世帯）別、24年度調査との比較

「30～39歳未満」が約5割

ひとり親になった当時の父母の年齢を聞いたところ、「30～39歳未満」の割合が49.4%で最も高く、次いで「40～49歳未満」が24.1%となっている。

ひとり親になった当時の父母の年齢を世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、母子世帯では、「30～39歳未満」の割合が51.7%で最も高く、父子世帯では「40歳～49歳未満」の割合が44.6%で最も高くなっている。（図Ⅱ-2-2）

図Ⅱ-2-2 ひとり親世帯になったときの親の年齢
—世帯類型（母子・父子世帯）別、24年度調査との比較

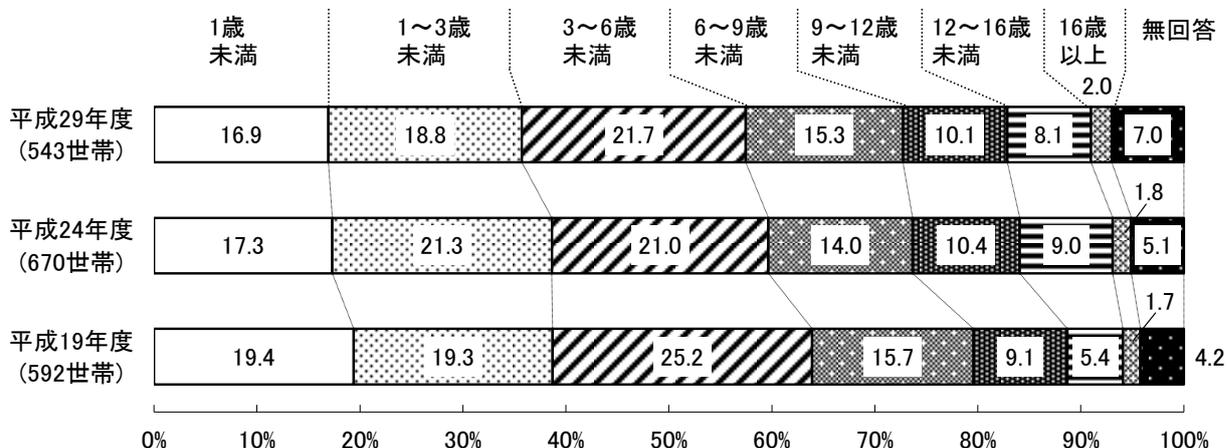


3 ひとり親世帯になったときの1番下の子供の年齢—過去調査との比較

「3～6歳未満」の割合が2割強

ひとり親になった当時の1番下の子供の年齢を聞いたところ、「3～6歳未満」の割合が21.7%で最も高く、次いで、「1～3歳未満」が18.8%となっている。(図Ⅱ-2-3)

図Ⅱ-2-3 ひとり親世帯になったときの1番下の子供の年齢—過去調査との比較

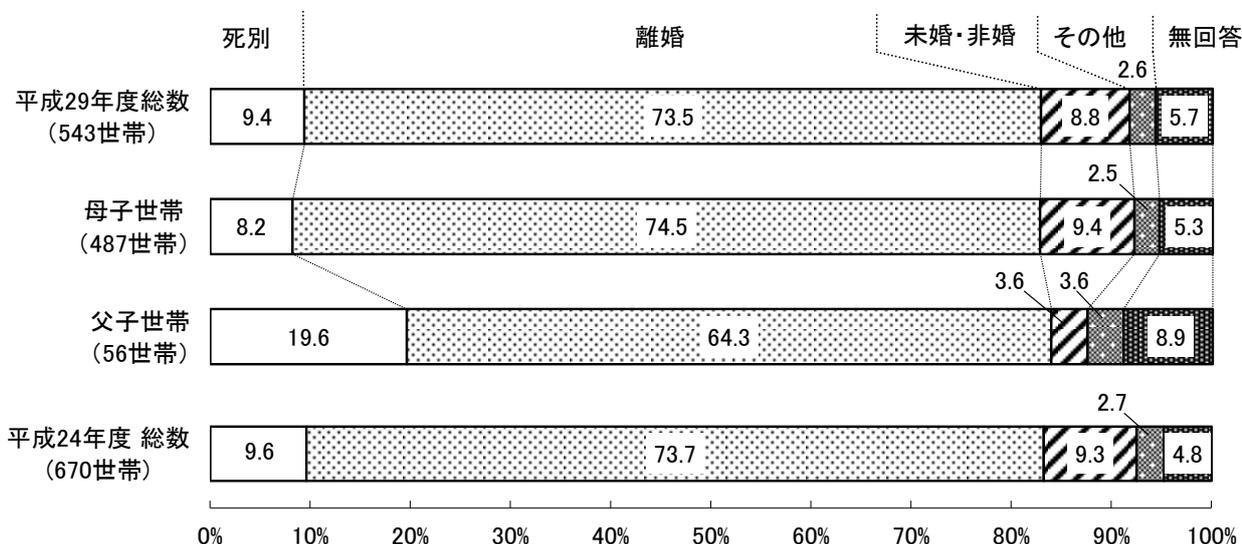


4 ひとり親世帯になった理由—世帯類型（母子・父子世帯）別、24年度調査との比較

「離婚」の割合が7割強、父子世帯では「死別」が約2割

ひとり親になった理由について聞いたところ、「離婚」の割合が73.5%で最も高くなっている。また、ひとり親になった理由を世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、母子世帯・父子世帯ともに、「離婚」の割合が最も高く、母子世帯が74.5%、父子世帯は64.3%となっている。「死別」の割合は、父子世帯が19.6%、母子世帯は8.2%で、父子世帯の方が11.4ポイント高くなっている。(図Ⅱ-2-4)

図Ⅱ-2-4 ひとり親世帯になった理由—世帯類型（母子・父子世帯）別、24年度調査との比較



5 ひとり親世帯になった当時困ったこと、現在困っていること

(1) ひとり親世帯になった当時困ったこと、現在困っていること〔複数回答〕

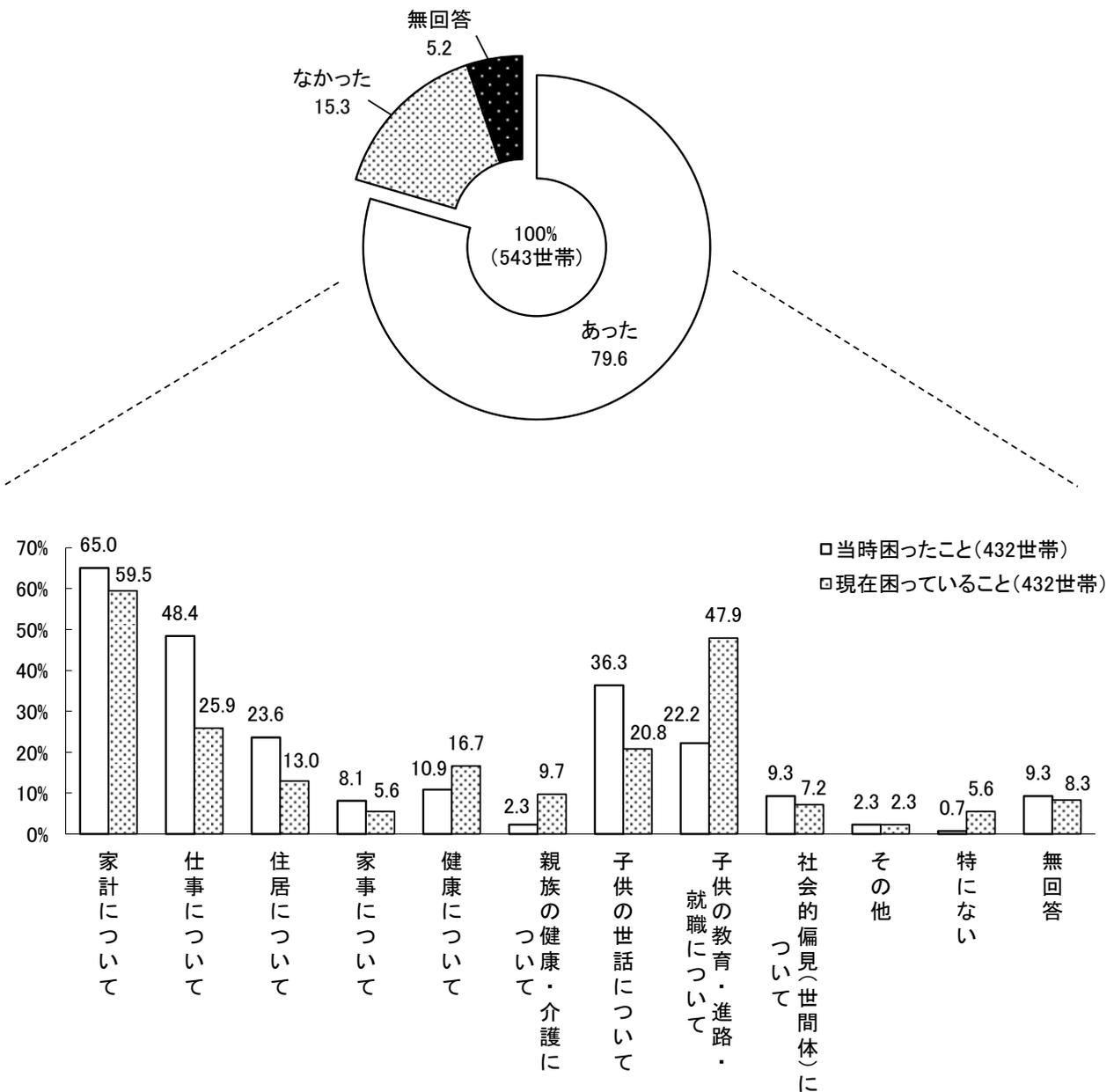
ひとり親になった当時、現在ともに「家計について」の割合が最も高い

暮らし向きのことや子育てに関して今までに困ったことがあったか聞いたところ、「あった」の割合は79.6%となっている。

「あった」と回答した世帯（432世帯）にその内容を聞いたところ、ひとり親になった当時は、「家計について」の割合が65.0%で最も高く、次いで「仕事について」が48.4%となっている。

ひとり親になって、現在困っていることは、「家計について」の割合が59.5%で最も高く、次いで「子供の教育・進路・就職について」が47.9%となっている。（図Ⅱ-2-5）

図Ⅱ-2-5 ひとり親世帯になった当時困ったこと、現在困っていること〔複数回答〕



(2) ひとり親世帯になった当時困ったこと〔複数回答〕

－ひとり親になったときの親の年齢別

全ての年齢階級において、「家計について」の割合が最も高く、「30歳未満」では8割強

暮らし向きのことや子育てに関して、ひとり親になった当時困ったことがあったと回答した世帯（389世帯）を、ひとり親になったときの親の年齢別にみると、全ての階級において「家計について」の割合が最も高くなっている（50.0%～83.9%）。(表Ⅱ-2-1)

表Ⅱ-2-1 ひとり親世帯になった当時困ったこと〔複数回答〕

－ひとり親になったときの親の年齢別

	総数	家計について	仕事について	住居について	家事について	健康について	親族の健康・介護について	子供の世話について	子供の教育・進路・就職について	社会的偏見（世間体）について	その他
総数	100.0 (389)	72.2	53.7	26.2	9.0	12.1	2.6	40.4	24.7	10.3	2.6
30歳未満	100.0 (62)	<u>83.9</u>	58.1	25.8	3.2	9.7	-	43.5	16.1	9.7	-
30～39歳	100.0 (201)	<u>74.1</u>	57.7	24.9	6.5	10.9	2.0	41.8	22.4	9.5	3.0
40～49歳	100.0 (100)	<u>63.0</u>	41.0	31.0	13.0	17.0	4.0	39.0	32.0	12.0	3.0
50歳以上	100.0 (12)	<u>50.0</u>	41.7	25.0	33.3	8.3	16.7	25.0	33.3	16.7	8.3

(3) ひとり親世帯になって現在困っていること〔複数回答〕－母の年齢階級別

全ての年齢階級において、「家計について」の割合が最も高く、「40～49 歳」以下の各階級では7割強

暮らし向きのことや子育てに関して、ひとり親になって現在困っていると回答した母子世帯（345 世帯）を、母の年齢階級別にみると、全ての階級において、「家計について」の割合が最も高くなっている（69.1%～76.9%）。（表Ⅱ-2-2）

表Ⅱ-2-2 ひとり親世帯になって現在困っていること〔複数回答〕－母の年齢階級別

	総数	家計について	仕事について	住居について	家事について	健康について	親族の健康・介護について	子供の世話について	子供の教育・進路・就職について	社会的偏見（世間体）について	その他
総数	100.0 (345)	73.6	30.4	16.2	4.9	20.0	11.3	21.7	55.7	8.7	2.6
30歳未満	100.0 (13)	<u>76.9</u>	23.1	7.7	15.4	-	-	30.8	38.5	30.8	-
30～39歳	100.0 (101)	<u>75.2</u>	35.6	18.8	4.0	17.8	4.0	38.6	47.5	5.0	2.0
40～49歳	100.0 (176)	<u>73.9</u>	29.5	17.0	5.7	17.6	14.8	14.8	60.8	10.2	2.8
50歳以上	100.0 (55)	<u>69.1</u>	25.5	10.9	1.8	36.4	16.4	10.9	58.2	5.5	3.6

(注) 父子世帯は総数が 27 世帯のため省略した

(4) ひとり親世帯になって現在困っていること〔複数回答〕－世帯類型（母子・父子世帯）別

母子世帯では「家計について」の割合が、父子世帯では「子供の世話について」、「子供の教育・進路・就職について」の割合が最も高い

暮らし向きのことや子育てに関して、ひとり親になって現在困っていると回答した世帯（372世帯）を、世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、母子世帯では、「家計について」の割合が73.6%で最も高く、次いで「子供の教育・進路・就職について」が55.7%となっている。

父子世帯では、「子供の世話について」、「子供の教育・進路・就職について」の割合が55.6%で最も高く、次いで「仕事について」、「家事について」が25.9%となっている。（表Ⅱ-2-3）

表Ⅱ-2-3 ひとり親世帯になって現在困っていること〔複数回答〕

－世帯類型（母子・父子世帯）別

	総数	家計について	仕事について	住居について	家事について	健康について	親族の健康・介護について	子供の世話について	子供の教育・進路・就職について	社会的偏見（世間体）について	その他
総数	100.0 (372)	69.1	30.1	15.1	6.5	19.4	11.3	24.2	55.6	8.3	2.7
母子世帯	100.0 (345)	<u>73.6</u>	30.4	16.2	4.9	20.0	11.3	21.7	<u>55.7</u>	8.7	2.6
父子世帯	100.0 (27)	11.1	<u>25.9</u>	-	<u>25.9</u>	11.1	11.1	<u>55.6</u>	<u>55.6</u>	3.7	3.7

6 ひとり親世帯になった当時暮らしのためにしたこと

(1) ひとり親世帯になった当時暮らしのためにしたこと〔複数回答〕－24年度調査との比較

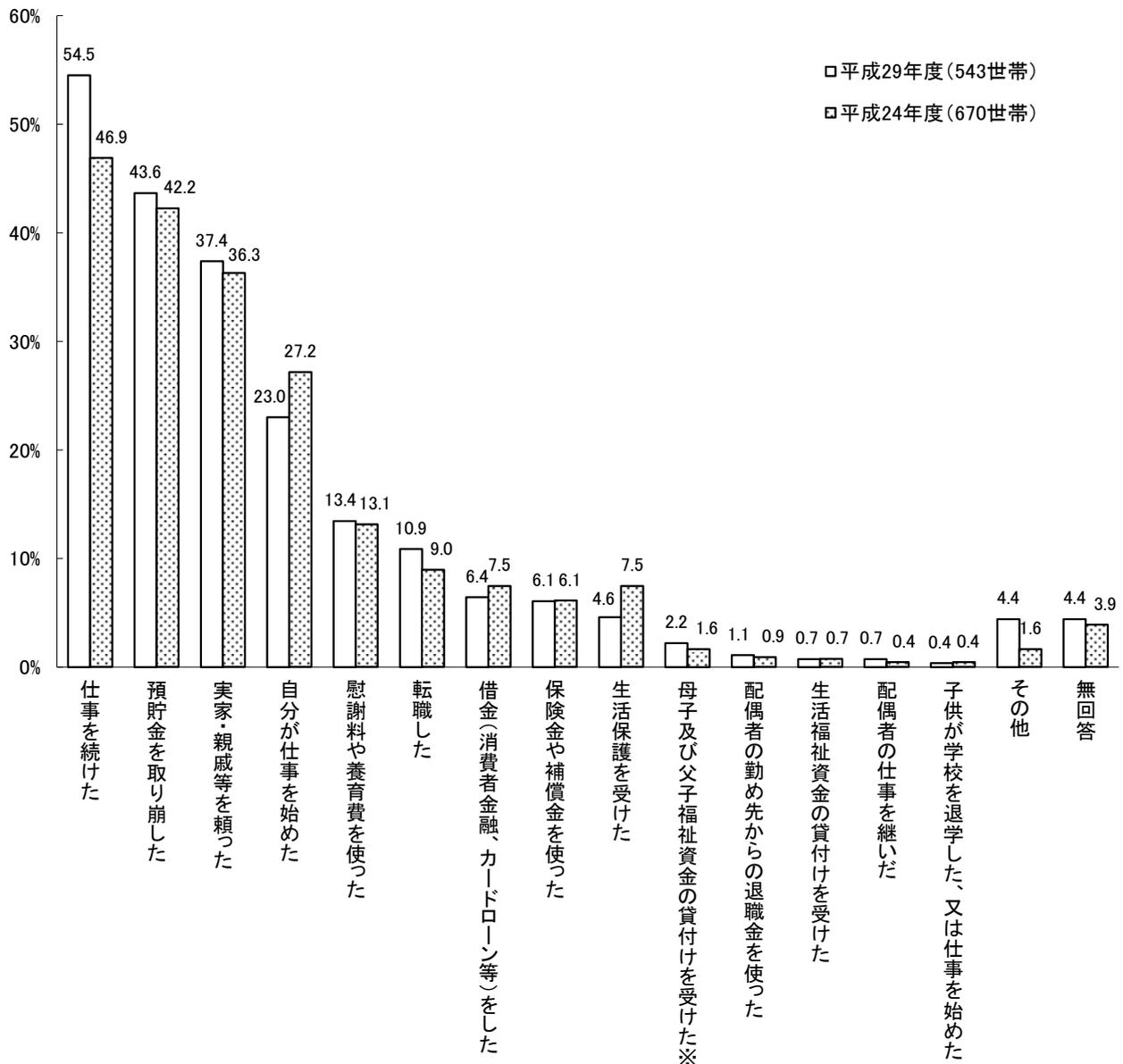
「仕事を続けた」の割合が5割強

ひとり親になった当時暮らしを立てる上でしたことについて聞いたところ、「仕事を続けた」の割合が54.5%で最も高く、次いで「預貯金を取り崩した」が43.6%、「実家・親戚等を頼った」が37.4%となっている。

「仕事を続けた」の割合は、24年度調査（46.9%）から7.6ポイント増加している。（図Ⅱ-2-6）

図Ⅱ-2-6 ひとり親世帯になった当時暮らしのためにしたこと〔複数回答〕

－24年度調査との比較



(注) 24年度調査では、※は「母子福祉資金の貸付けを受けた」としていた。

(2) ひとり親世帯になった当時暮らしのためにしたこと〔複数回答〕

－ひとり親世帯になったときの1番下の子供の年齢別

1番下の子供の全ての年齢階級において、「仕事を続けた」の割合が最も高い

ひとり親になった当時暮らしを立てる上でしたことを、ひとり親になったときの1番下の子供の年齢別にみると、1番下の子供の全ての年齢階級において、「仕事を続けた」の割合が最も高くなっている（46.6%～67.5%）

また、「実家・親戚等を頼った」の割合は、1歳未満では56.5%で、他の年齢階級よりも高くなっている。（表Ⅱ-2-4）

表Ⅱ-2-4 ひとり親世帯になった当時暮らしのためにしたこと〔複数回答〕

－ひとり親世帯になったときの1番下の子供の年齢別

	総数	仕事を続けた	配偶者の仕事を継いだ	自分が仕事を始めた	子供が学校を退学した、又は仕事を始めた	預貯金を取り崩した	退職金を使った	先からの配偶者の勤め先からの退職金を使った	転職した	慰謝料や養育費を使った	保険金や補償金を使った	実家・親戚等を頼った	母子及び父子福祉資金の貸付けを受けた※	生活福祉資金の貸付けを受けた	生活保護を受けた	借金（消費者金融、カードローン等）をした	その他	無回答
総数	100.0 (543)	54.5	0.7	23.0	0.4	43.6	1.1	10.9	13.4	6.1	37.4	2.2	0.7	6.4	4.6	4.4	4.4	
1歳未満	100.0 (92)	<u>58.7</u>	-	20.7	1.1	48.9	-	10.9	15.2	2.2	<u>56.5</u>	1.1	2.2	6.5	6.5	4.3	-	
1～3歳未満	100.0 (102)	<u>51.0</u>	-	33.3	-	44.1	-	9.8	9.8	2.9	44.1	-	-	9.8	4.9	4.9	1.0	
3～6歳未満	100.0 (118)	<u>46.6</u>	1.7	33.9	-	44.1	0.8	10.2	16.1	7.6	37.3	5.9	0.8	6.8	5.9	5.1	0.8	
6～9歳未満	100.0 (83)	<u>67.5</u>	-	14.5	-	51.8	3.6	10.8	14.5	8.4	37.3	1.2	-	4.8	-	4.8	-	
9～12歳未満	100.0 (55)	<u>58.2</u>	1.8	18.2	1.8	47.3	-	20.0	16.4	10.9	25.5	1.8	1.8	7.3	1.8	3.6	-	
12歳以上	100.0 (55)	<u>65.5</u>	1.8	10.9	-	38.2	3.6	9.1	14.5	7.3	21.8	3.6	-	3.6	9.1	5.5	-	

第3章 養育費・面会交流について

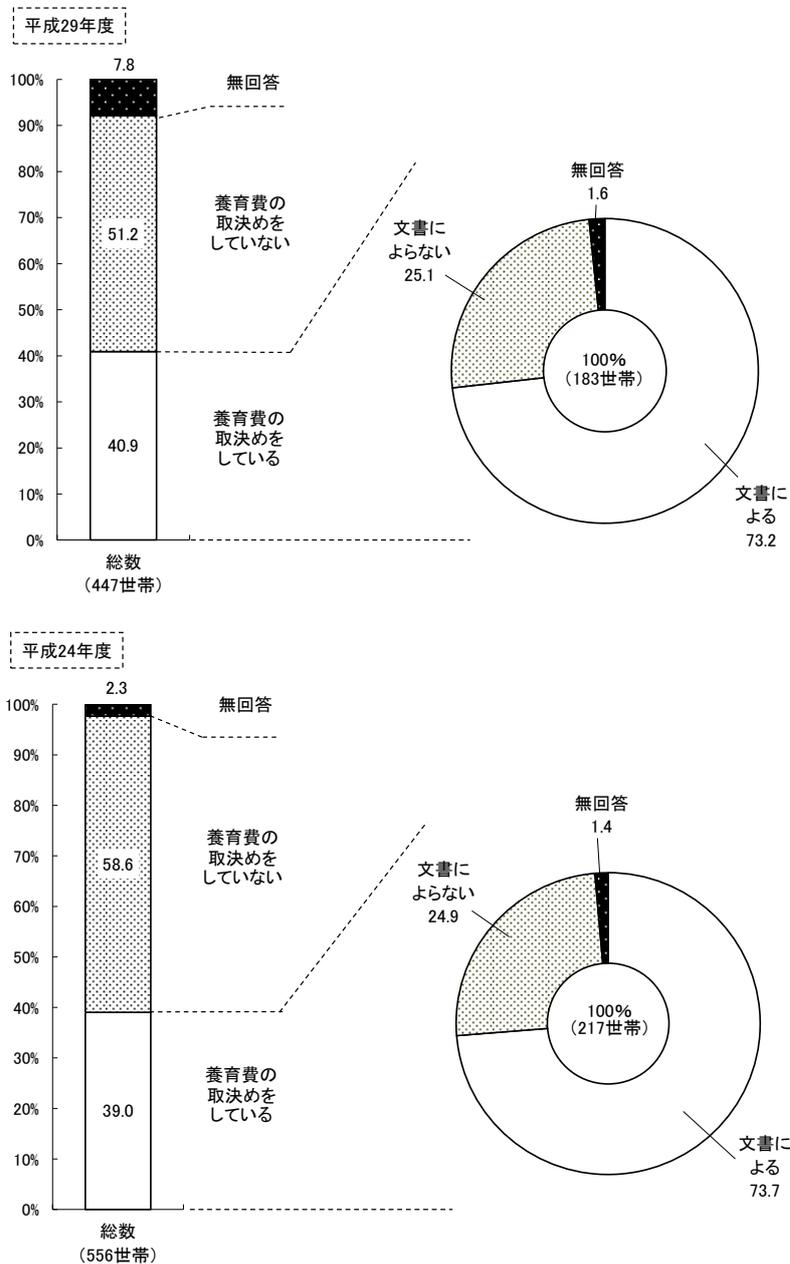
1 養育費取決めの有無及び養育費の取決めは文書によるか

(1) 養育費取決めの有無及び養育費の取決めは文書によるかー24年度調査との比較

「養育費の取り決めをしている」世帯は約4割、そのうち、「文書による」取り決めは7割強

ひとり親になった理由が「離婚」と「非婚・未婚」である世帯（447世帯）に、離別した相手と養育費の取決めをしているか聞いたところ、「養育費の取決めをしている」の割合が40.9%となっている。さらに養育費の取決めをしている世帯（183世帯）に、文書による取決めか聞いたところ、「文書による」の割合が73.2%となっている。（図Ⅱ-3-1）

図Ⅱ-3-1 養育費取決めの有無及び養育費の取決めは文書によるかー24年度調査との比較

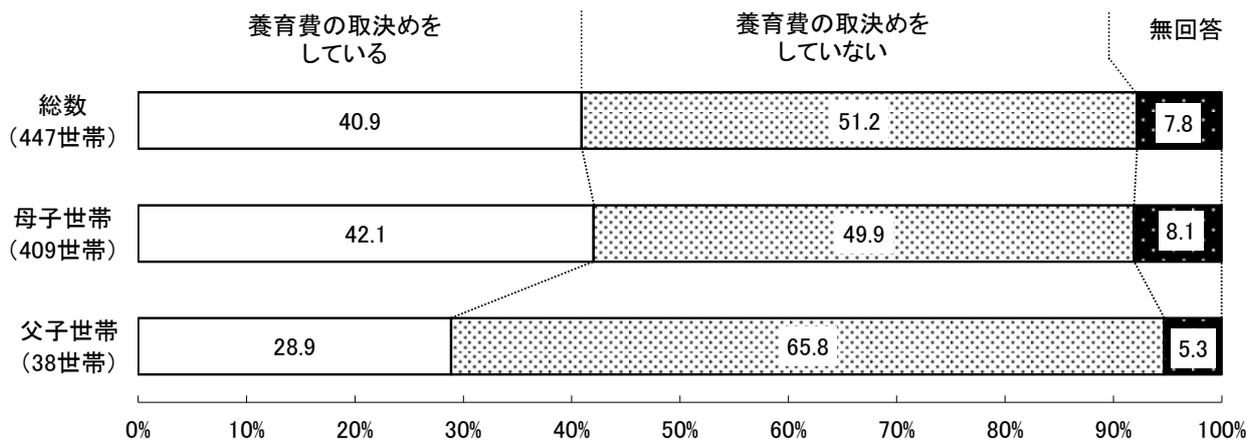


(2) 養育費取決めの有無—世帯類型（母子・父子世帯）別

「養育費の取決めをしている」割合は、母子世帯が4割強、父子世帯が2割超

養育費取決めの有無を世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、「養育費の取決めをしている」の割合は、母子世帯が42.1%、父子世帯は28.9%で、母子世帯の方が13.2ポイント高くなっている。（図Ⅱ-3-2）

図Ⅱ-3-2 養育費取決めの有無—世帯類型（母子・父子世帯）別



(3) 養育費取決めの有無－ひとり親になってからの年数別

ひとり親になってから1年未満の世帯では、「養育費の取決めをしている」割合が5割

養育費取決めの有無を、ひとり親になってからの年数別にみると、「養育費の取決めをしている」の割合は、ひとり親になってから1年未満が50.0%、15年以上は29.0%で、1年未満の方が21.0ポイント高くなっている。(表Ⅱ-3-1)

表Ⅱ-3-1 養育費取決めの有無－ひとり親になってからの年数別

	総 数	し 養 育 費 の 取 決 め を	し 養 育 費 の 取 決 め を	無 回 答
総数	100.0 (447)	40.9	51.2	7.8
1年未満	100.0 (12)	<u>50.0</u>	25.0	25.0
1～3年未満	100.0 (72)	44.4	47.2	8.3
3～6年未満	100.0 (110)	44.5	50.0	5.5
6～9年未満	100.0 (90)	42.2	47.8	10.0
9～15年未満	100.0 (118)	39.0	55.9	5.1
15年以上	100.0 (31)	<u>29.0</u>	64.5	6.5

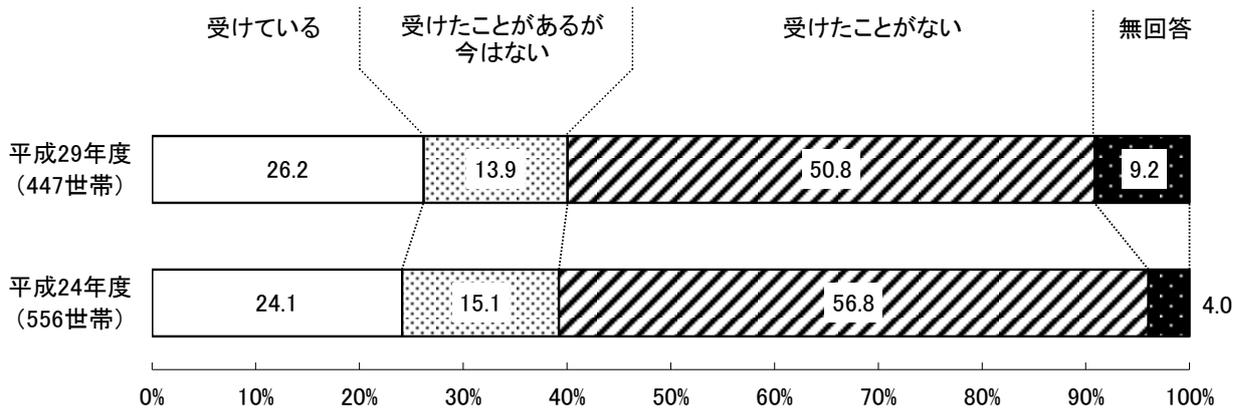
2 養育費受取の有無

(1) 養育費受取の有無－24年度調査との比較

養育費を「受けている」割合は2割超

ひとり親になった理由が「離婚」と「非婚・未婚」である世帯（447世帯）に、離別した相手から養育費を受けているか聞いたところ、「受けている」の割合が26.2%となっている。（図Ⅱ-3-3）

図Ⅱ-3-3 養育費受取の有無－24年度調査との比較



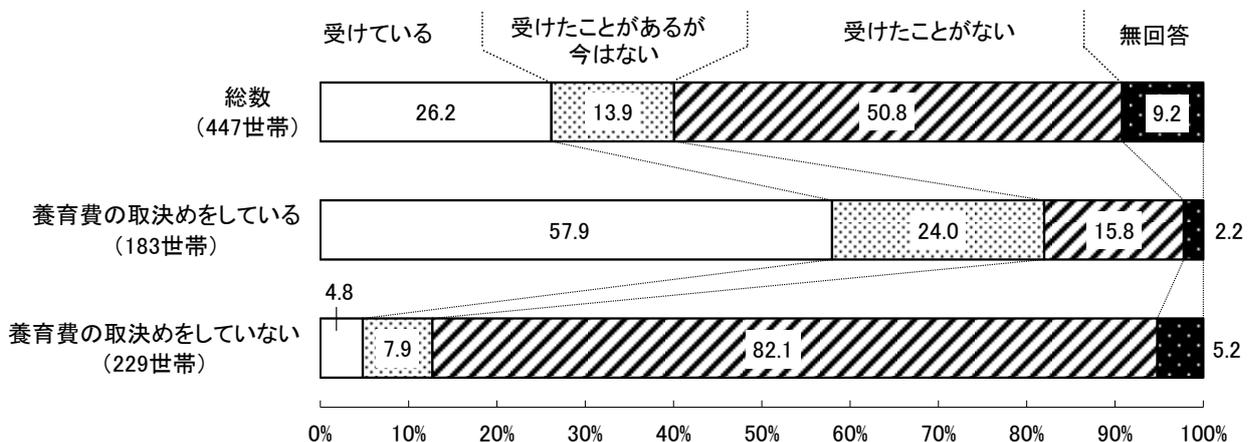
(2) 養育費受取の有無－養育費取決めの有無別

「受けている」割合は、養育費の取決めをしている世帯では5割超

養育費受取の有無を養育費取決めの有無別にみると、「受けている」の割合は、養育費の取決めをしている世帯が57.9%、養育費の取決めをしていない世帯は4.8%で、養育費の取決めをしている世帯の方が53.1ポイント高くなっている。

養育費の取決めをしていない世帯では、「受けたことがない」の割合が82.1%となっている。（図Ⅱ-3-4）

図Ⅱ-3-4 養育費受取の有無－養育費取決めの有無別

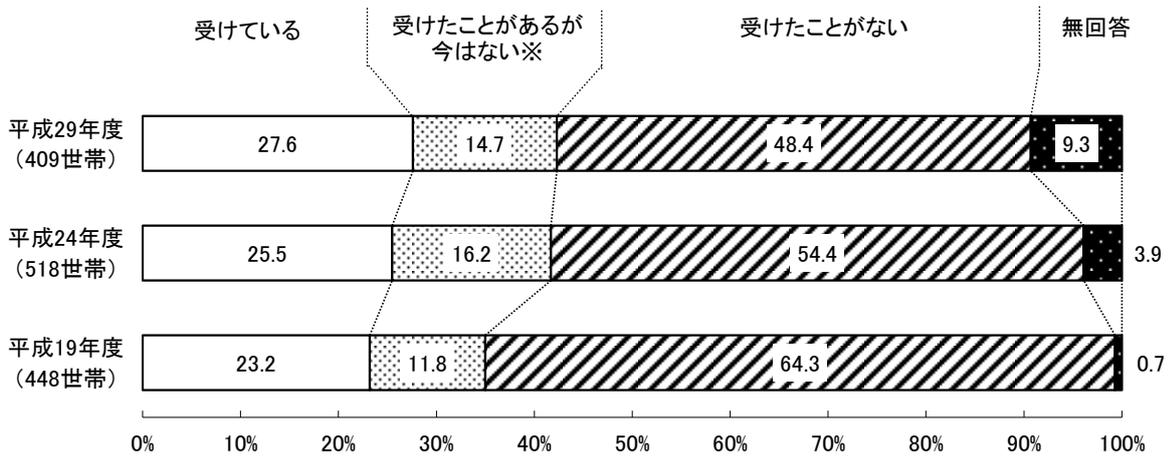


(3) 母子世帯の養育費受取の有無—過去調査との比較

母子世帯で養育費を「受けている」割合は、19年度調査より増加傾向

母子世帯に養育費受取の有無を聞いたところ、「受けている」の割合は27.6%で、24年度調査(25.5%)、19年度調査(23.2%)から増加している。(図Ⅱ-3-5)

図Ⅱ-3-5 母子世帯の養育費受取の有無—過去調査との比較



(注) 19年度調査では、※は「受けたことがある」としていた。

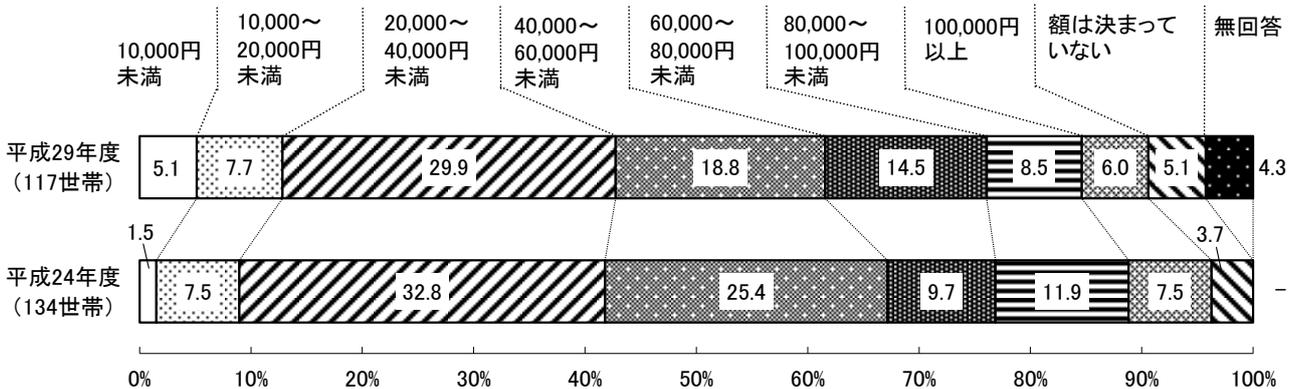
(注) 父子世帯は総数が38世帯のため省略する。

3 1か月の養育費の額—24年度調査との比較

養育費の額は「20,000～40,000円未満」の割合が約3割

養育費を「受けている」と回答した世帯(117世帯)に1か月の養育費の金額を聞いたところ、「20,000～40,000円未満」の割合が29.9%で最も高く、次いで、「40,000～60,000円未満」が18.8%となっている。(図Ⅱ-3-6)

図Ⅱ-3-6 1か月の養育費の額—24年度調査との比較



4 面会交流の有無と頻度

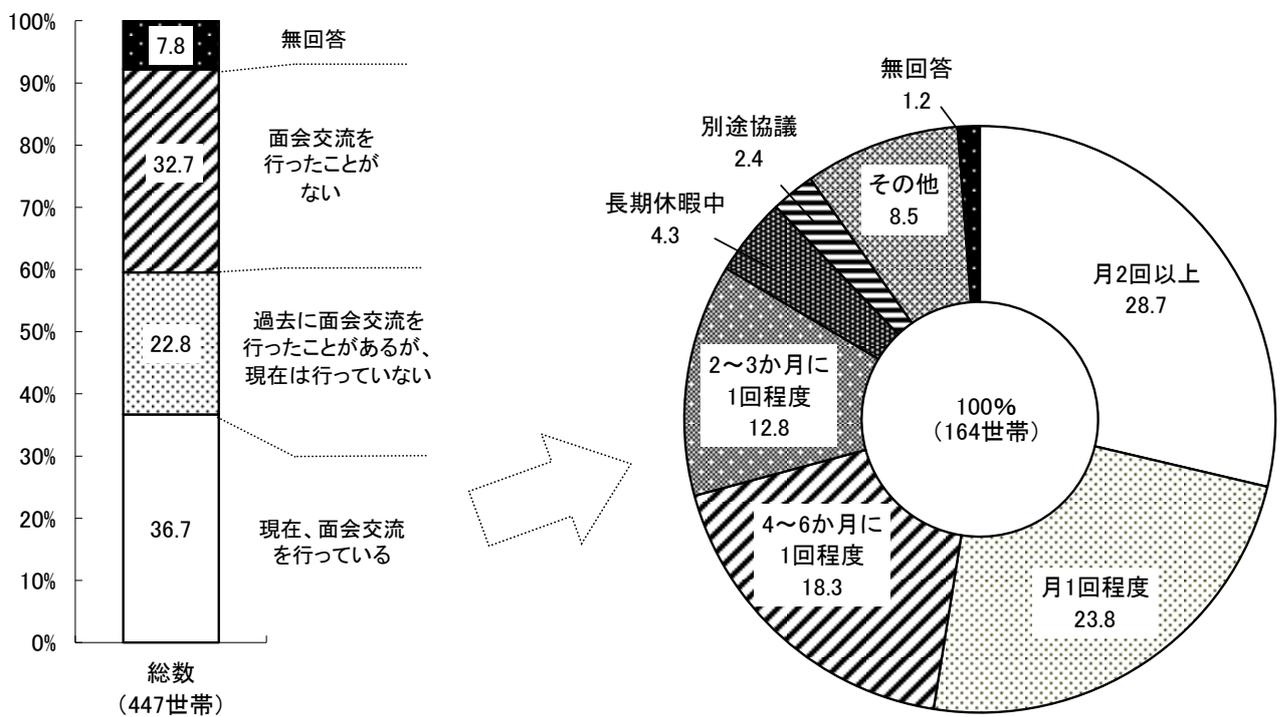
(1) 面会交流の有無と頻度

「現在、面会交流を行っている」割合は3割超

ひとり親になった理由が「離婚」と「非婚・未婚」である世帯（447世帯）に、面会交流を実施しているか聞いたところ、「現在、面会交流を行っている」の割合は36.7%となっている。

さらに現在、面会交流を行っている世帯（164世帯）に、その頻度を聞いたところ、「月2回以上」の割合が28.7%で最も高く、次いで「月1回程度」が23.8%となっている。（図Ⅱ-3-7）

図Ⅱ-3-7 面会交流の有無と頻度

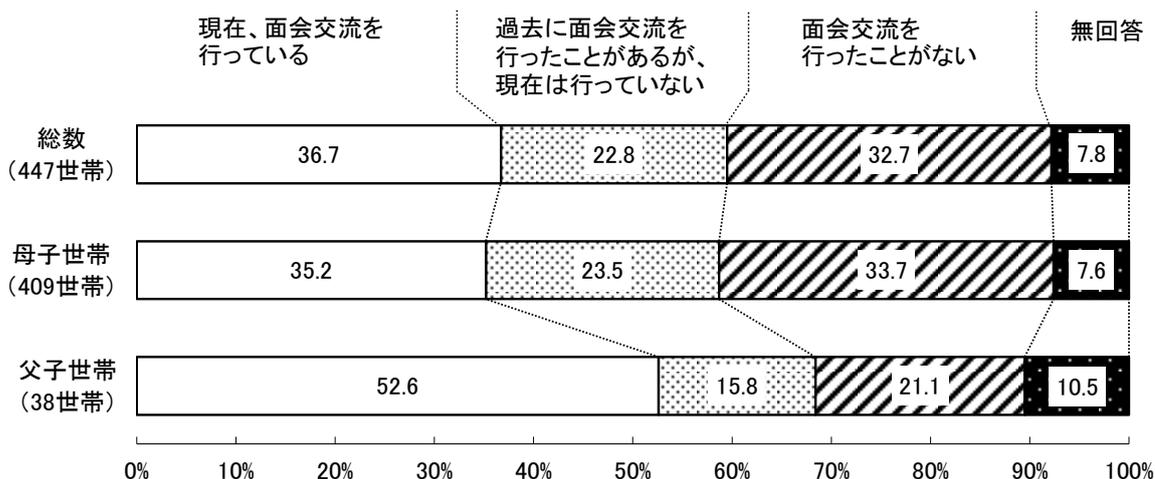


(2) 面会交流の有無－世帯類型（母子・父子世帯）別

父子世帯で「現在、面会交流を行っている」割合は5割強

面会交流の有無を世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、「現在、面会交流を行っている」の割合は、母子世帯で35.2%、父子世帯で52.6%となっている。（図Ⅱ-3-8）

図Ⅱ-3-8 面会交流の有無－世帯類型（母子・父子世帯）別



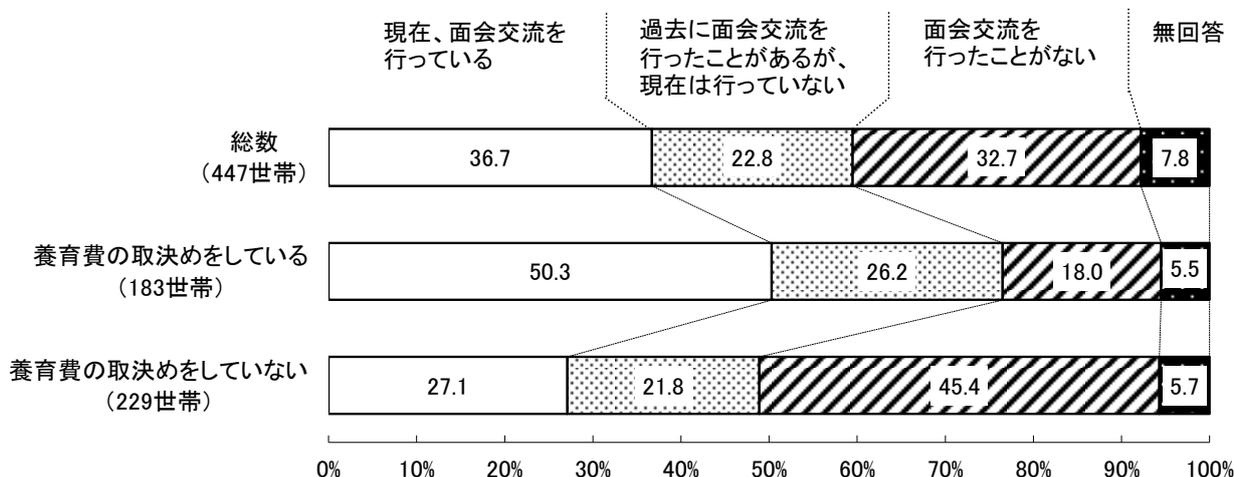
(3) 面会交流の有無－養育費取決めの有無別

養育費の取決めをしている世帯では、「現在、面会交流を行っている」の割合は約5割

面会交流の有無を養育費取決めの有無別にみると、「現在、面会交流を行っている」の割合は、養育費の取決めをしている世帯が50.3%、養育費の取決めをしていない世帯は27.1%で、養育費の取決めをしている世帯の方が23.2ポイント高くなっている。

養育費の取決めをしていない世帯では、「面会交流を行ったことがない」の割合が45.4%となっている。（図Ⅱ-3-9）

図Ⅱ-3-9 面会交流の有無－養育費取決めの有無別



第4章 公的制度について

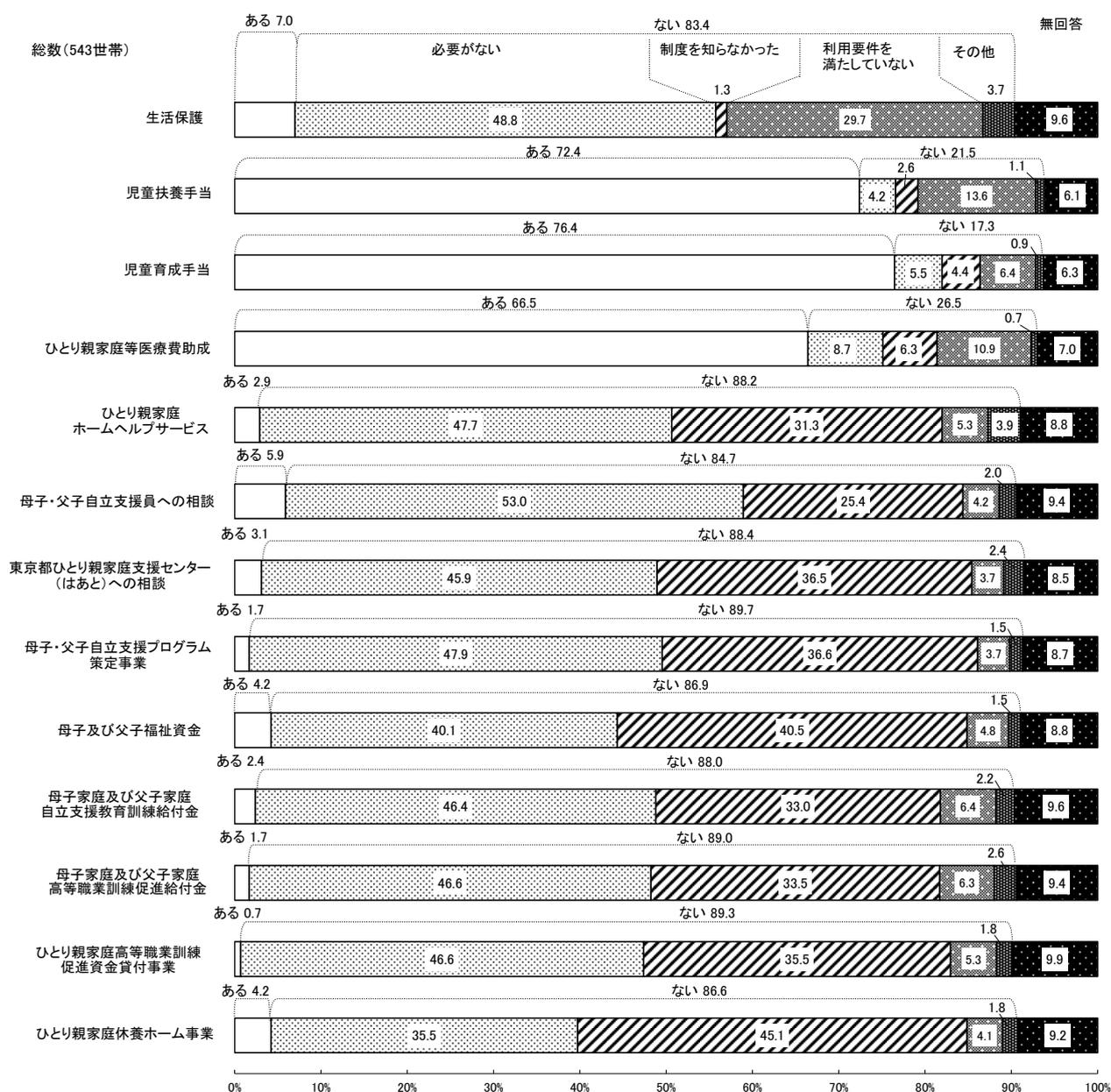
1 制度利用の有無と制度を利用していない理由

(1) 制度利用の有無と制度を利用していない理由

利用したことが「ある」の割合は「児童育成手当」が最も高く、7割超

公的制度の利用の有無について聞いたところ、利用したことが「ある」の割合は「児童育成手当」が76.4%で最も高く、次いで「児童扶養手当」が72.4%、「ひとり親家庭等医療費助成」が66.5%となっている。(図Ⅱ-4-1)

図Ⅱ-4-1 制度利用の有無と制度を利用していない理由



(注) 統計比率を合算した比率は、実数を用いて算出しているため、各比率を単純に合算した比率とは一致しない場合がある。

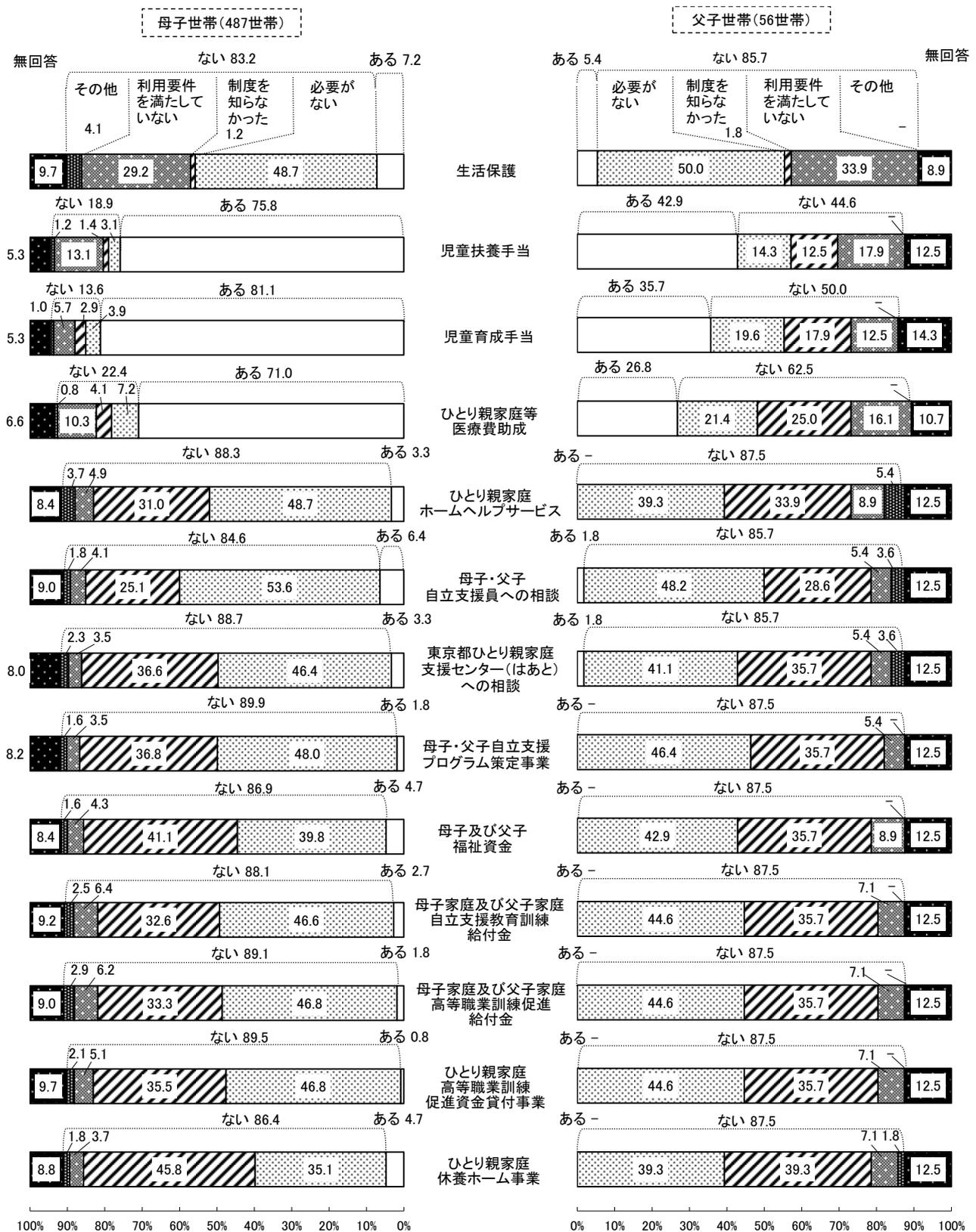
(2) 制度利用の有無と制度を利用していない理由—世帯類型（母子・父子世帯）別

「児童育成手当」を利用したことが「ある」割合は、母子世帯では 8 割強、父子世帯では 3 割超

公的制度の利用の有無について世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、母子世帯では、利用したことが「ある」の割合は「児童育成手当」が 81.1%で最も高く、次いで「児童扶養手当」が 75.8%、「ひとり親家庭等医療費助成」が 71.0%となっている。父子世帯では、「児童扶養手当」の割合が 42.9%で最も高く、次いで「児童育成手当」が 35.7%、「ひとり親家庭等医療費助成」が 26.8%となっている。

母子世帯、父子世帯ともに、「ひとり親家庭ホームヘルプサービス」、「東京都ひとり親家庭支援センター（はあと）への相談」、「母子・父子自立支援プログラム策定事業」、「母子及び父子福祉資金」、「母子家庭及び父子家庭自立支援教育訓練給付金」、「母子家庭及び父子家庭高等職業訓練促進給付金」、「ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業」、「ひとり親家庭休養ホーム事業」については、利用したことが「ない」の割合が 8 割を超えており、そのうち、「制度を知らなかった」の割合が 3 割を超えている。（図Ⅱ-4-2）

図Ⅱ-4-2 制度利用の有無と制度を利用していない理由—世帯類型（母子・父子世帯）別



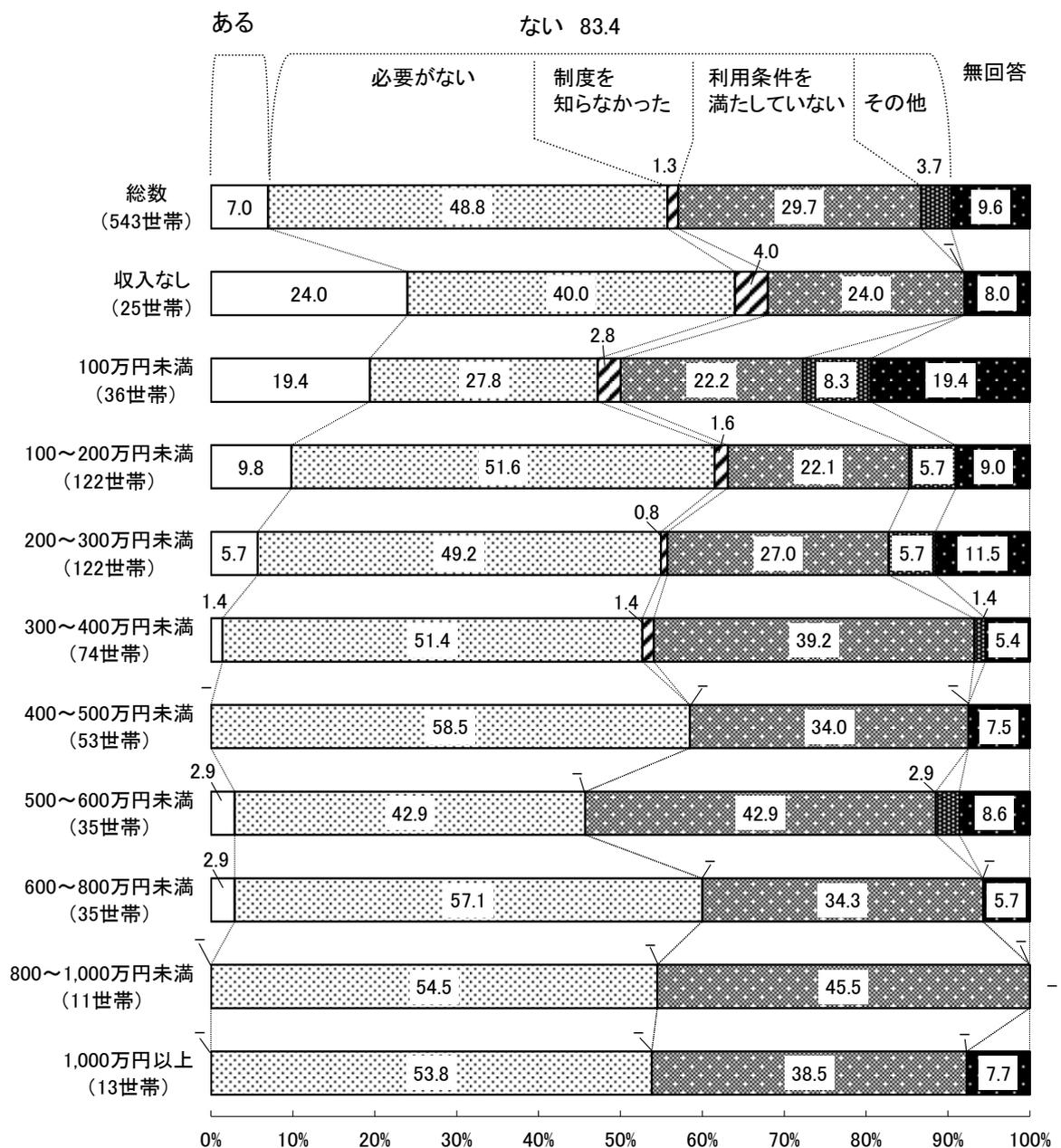
(注) 統計比率を合算した比率は、実数を用いて算出しているため、各比率を単純に合算した比率とは一致しない場合がある。

(3) 制度利用（生活保護）の有無と制度を利用していない理由—世帯の年間収入別

「100万円未満」では生活保護を利用したことが「ある」割合は約2割

公的制度（生活保護）の利用の有無と制度を利用していない理由を世帯の年間収入別にみると、生活保護を利用したことが「ある」割合は、「100万円未満」では19.4%、「100～200万円未満」では9.8%、「200～300万円未満」では5.7%となっており、「100万円未満」から「200～300万円未満」の各階級では、階級が上がるにつれ、生活保護を利用したことが「ある」割合は減少している。（図Ⅱ-4-3）

図Ⅱ-4-3 制度利用（生活保護）の有無と制度を利用していない理由—世帯の年間収入別



(3) 子育てを理由とした転職の有無—世帯類型（母子・父子世帯）別

「はい」の割合は、両親世帯が1割強、ひとり親世帯は3割超

子育てを理由とした転職の有無を世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、「はい」の割合は、ひとり親世帯が35.3%、両親世帯は12.1%で、ひとり親世帯の方が23.2ポイント高くなっている。

また、「はい」の割合は、母子世帯が37.9%、父子世帯は12.7%で、母子世帯の方が25.2ポイント高くなっている。（表Ⅲ-1-3）

表Ⅲ-1-3 子育てを理由とした転職の有無—世帯類型（母子・父子世帯）別

	総数	はい	いいえ	無回答
総数	100.0 (6,683)	13.9	84.7	1.4
両親世帯	100.0 (6,148)	<u>12.1</u>	86.6	1.4
ひとり親世帯	100.0 (535)	<u>35.3</u>	63.2	1.5
母子世帯	100.0 (480)	<u>37.9</u>	60.6	1.5
父子世帯	100.0 (55)	<u>12.7</u>	85.5	1.8

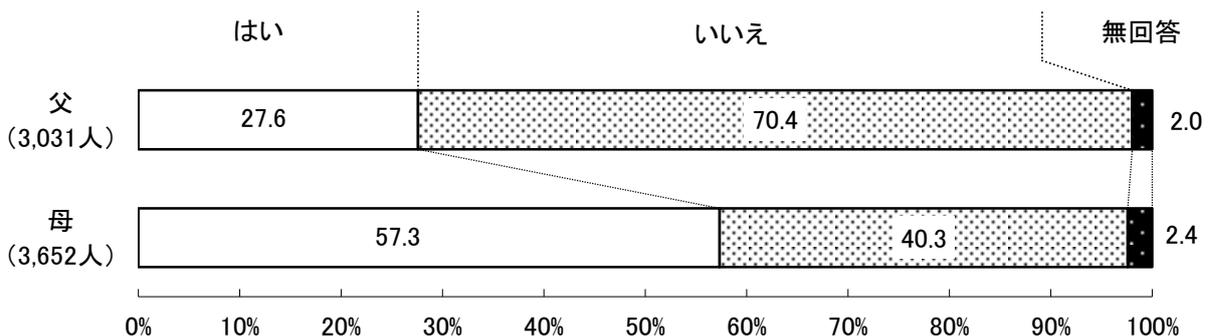
3 勤務時間の調整の有無

(1) 勤務時間の調整が必要だった経験（予定も含む。）の有無

「はい」の割合は、父が2割超、母が5割超

就労状況で「今まで働いたことはない」と回答した父母と「無回答」を除いた父母（6,683人）に、子育てを理由に、勤務時間の調整が必要だった経験（予定も含む。）があるかを聞いたところ、「はい」の割合は、父が27.6%、母は57.3%である。（図Ⅲ-1-3）

図Ⅲ-1-3 勤務時間の調整が必要だった経験（予定も含む。）の有無



第1章 就労について

1-39 勤務時間の調整が必要だった経験(必要になる予定)の有無(父)―世帯類型(母子・父子世帯別)別

	総 数	は い	い い え	無 回 答
総数	3,031 100.0	836 27.6	2,135 70.4	60 2.0
両親に育てられている世帯	2,976 100.0	811 27.3	2,106 70.8	59 2.0
養育者が父母である世帯	2,931 100.0	798 27.2	2,075 70.8	58 2.0
養育者のうち少なくとも一方 が父母以外である世帯	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0
不明	40 100.0	11 27.5	29 72.5	- -
ひとり親を含む世帯	55 100.0	25 45.5	29 52.7	1 1.8
父子世帯	55 100.0	25 45.5	29 52.7	1 1.8
父子のみの世帯	41 100.0	18 43.9	22 53.7	1 2.4
その他	14 100.0	7 50.0	7 50.0	- -
無回答	- -	- -	- -	- -

第1章 就労について

1-40 勤務時間の調整が必要だった経験(必要になる予定)の有無(母)―世帯類型(母子・父子世帯別)別

	総 数	は い	い い え	無 回 答
総数	3,652 100.0	2,094 57.3	1,470 40.3	88 2.4
両親に育てられている世帯	3,172 100.0	1,809 57.0	1,280 40.4	83 2.6
養育者が父母である世帯	3,114 100.0	1,777 57.1	1,256 40.3	81 2.6
養育者のうち少なくとも一方 が父母以外である世帯	3 100.0	1 33.3	2 66.7	- -
不明	55 100.0	31 56.4	22 40.0	2 3.6
ひとり親を含む世帯	480 100.0	285 59.4	190 39.6	5 1.0
母子世帯	480 100.0	285 59.4	190 39.6	5 1.0
母子のみの世帯	394 100.0	229 58.1	160 40.6	5 1.3
その他	85 100.0	55 64.7	30 35.3	- -
無回答	1 100.0	1 100.0	- -	- -

(3) 相談相手〔複数回答〕－世帯類型（母子・父子世帯）別

両親世帯では「配偶者」、ひとり親世帯では「友人」の割合が最も高い

相談相手を世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、両親世帯では、「配偶者」の割合が90.4%で最も高く、次いで、「自分や配偶者の親」が65.3%、「友人」が51.9%となっている。

ひとり親世帯では、「友人」の割合が69.5%で最も高く、次いで「自分や配偶者の親」が50.8%、「職場の人」が39.7%となっている。（表Ⅲ-3-10）

表Ⅲ-3-10 相談相手〔複数回答〕－世帯類型（母子・父子世帯）別

	総数	配偶者	自分や配偶者の親	左記以外の家族や親族	保育所や幼稚園、学校等の先生	塾や習いごとの先生	友人	子供の保育所や幼稚園、学校等を通じて親しくなった人	職場の人	隣近所の人	病院の医師、看護師	保健所・保健センターの保健師	公的機関の相談員	民間の相談窓口の相談員	インターネット（掲示板等）	その他	無回答
総数	100.0 (6,105)	83.4	64.2	20.6	27.4	7.0	53.3	28.5	33.4	6.9	10.9	3.8	3.6	0.5	5.9	1.0	1.4
両親世帯	100.0 (5,627)	<u>90.4</u>	<u>65.3</u>	19.7	27.6	6.9	<u>51.9</u>	28.3	32.9	7.1	11.1	4.0	3.6	0.5	6.0	0.8	1.4
ひとり親世帯	100.0 (478)	0.6	<u>50.8</u>	32.2	24.5	8.4	<u>69.5</u>	31.0	<u>39.7</u>	4.4	7.7	2.5	3.1	0.6	4.2	3.1	1.5
母子世帯	100.0 (438)	0.5	52.5	32.0	25.3	8.9	70.8	32.4	40.0	4.6	8.2	2.3	2.7	0.7	4.3	3.4	1.4
父子世帯	100.0 (40)	2.5	32.5	35.0	15.0	2.5	55.0	15.0	37.5	2.5	2.5	5.0	7.5	-	2.5	-	2.5

第3章 子育てに関して感じること

3-139 相談相手の有無(父)―世帯類型(母子・父子世帯別)別

	総 数	い る	い な い の で 欲 し い	必 要 な い	無 回 答
総数	3,031 100.0	2,563 84.6	93 3.1	346 11.4	29 1.0
両親に育てられている世帯	2,976 100.0	2,523 84.8	87 2.9	337 11.3	29 1.0
養育者が父母である世帯	2,931 100.0	2,486 84.8	87 3.0	329 11.2	29 1.0
養育者のうち少なくとも一方 が父母以外である世帯	5 100.0	5 100.0	- -	- -	- -
不明	40 100.0	32 80.0	- -	8 20.0	- -
ひとり親を含む世帯	55 100.0	40 72.7	6 10.9	9 16.4	- -
父子世帯	55 100.0	40 72.7	6 10.9	9 16.4	- -
父子のみの世帯	41 100.0	29 70.7	4 9.8	8 19.5	- -
その他	14 100.0	11 78.6	2 14.3	1 7.1	- -
無回答	- -	- -	- -	- -	- -

第3章 子育てに関して感じること

3-140 相談相手の有無(母)―世帯類型(母子・父子世帯別)別

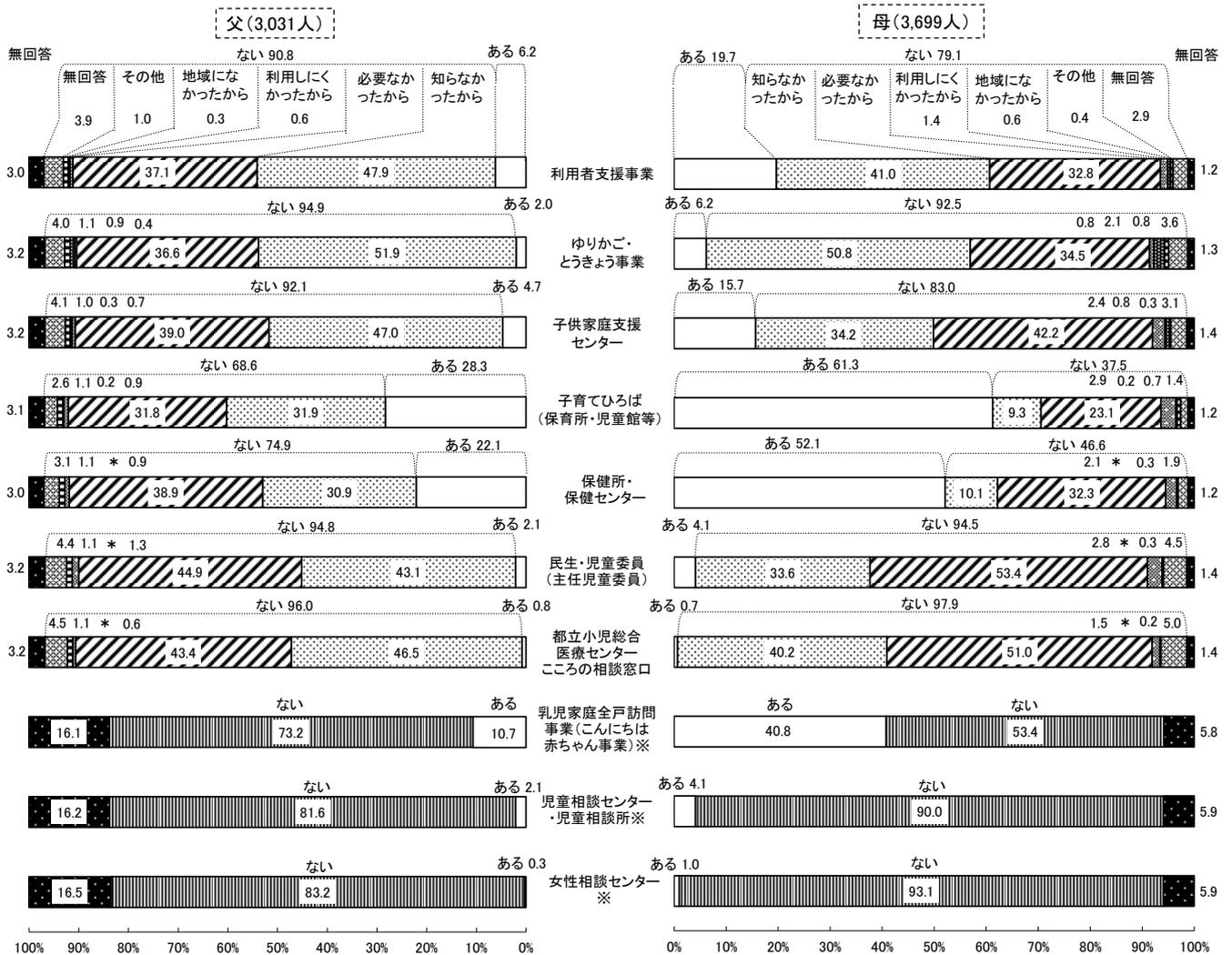
	総 数	い る	い な い の で 欲 し い	必 要 な い	無 回 答
総数	3,699 100.0	3,542 95.8	79 2.1	61 1.6	17 0.5
両親に育てられている世帯	3,217 100.0	3,104 96.5	63 2.0	43 1.3	7 0.2
養育者が父母である世帯	3,158 100.0	3,048 96.5	62 2.0	41 1.3	7 0.2
養育者のうち少なくとも一方 が父母以外である世帯	4 100.0	4 100.0	- -	- -	- -
不明	55 100.0	52 94.5	1 1.8	2 3.6	- -
ひとり親を含む世帯	482 100.0	438 90.9	16 3.3	18 3.7	10 2.1
母子世帯	482 100.0	438 90.9	16 3.3	18 3.7	10 2.1
母子のみの世帯	395 100.0	356 90.1	13 3.3	18 4.6	8 2.0
その他	86 100.0	81 94.2	3 3.5	- -	2 2.3
無回答	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -

(3) 子育て期における相談窓口の利用の有無及びその理由

「子育てひろば（保育所・児童館等）」を「利用したことがある」割合は、母が6割強

子育て期における相談窓口の利用の有無及び利用しなかった理由を聞いたところ、「子育てひろば（保育所・児童館等）」を「利用したことがある」割合は父が28.3%、母が61.3%となっている。（図Ⅲ-3-7）

図Ⅲ-3-7 子育て期における相談窓口の利用の有無及びその理由



(注) * 「保健所・保健センター」・「民生・児童委員 (主任児童委員)」・「都立小児総合医療センターところの相談窓口」は「地域になかったから」という選択肢を設けていない。

(注) ※ 「乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん事業)」・「児童相談センター・児童相談所」・「女性相談センター」については、利用の有無のみを尋ね、利用しなかった理由は聞いていない。

第3章 子育てに関して感じること

3-250 子育て期における相談窓口の利用の有無及び利用しない理由(母)―世帯類型(母子・父子世帯別)別

	a 利用者支援事業										b ゆりかご・とうきょう事業									
	総数	利用したことがある	利用したことがない	知らなかったから	必要なかったから	利用しにくかったから	地域になかったから	その他	無回答	無回答	総数	利用したことがある	利用したことがない	知らなかったから	必要なかったから	利用しにくかったから	地域になかったから	その他	無回答	無回答
総数	3,699	730	2,926	1,517	1,214	51	22	16	106	43	3,699	230	3,422	1,879	1,275	29	79	28	132	47
	100.0	19.7	79.1	41.0	32.8	1.4	0.6	0.4	2.9	1.2	100.0	6.2	92.5	50.8	34.5	0.8	2.1	0.8	3.6	1.3
両親に育てられている世帯	3,217	677	2,508	1,277	1,064	49	16	13	89	32	3,217	216	2,967	1,607	1,129	27	69	22	113	34
	100.0	21.0	78.0	39.7	33.1	1.5	0.5	0.4	2.8	1.0	100.0	6.7	92.2	50.0	35.1	0.8	2.1	0.7	3.5	1.1
養育者が父母である世帯	3,158	662	2,464	1,255	1,046	49	16	11	87	32	3,158	213	2,911	1,577	1,108	27	67	20	112	34
	100.0	21.0	78.0	39.7	33.1	1.6	0.5	0.3	2.8	1.0	100.0	6.7	92.2	49.9	35.1	0.9	2.1	0.6	3.5	1.1
養育者のうち少なくとも一方が父母以外である世帯	4	3	1	-	-	-	-	1	-	-	4	-	4	3	-	-	-	1	-	-
	100.0	75.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-	100.0	-	100.0	75.0	-	-	-	25.0	-	-
不明	55	12	43	22	18	-	-	1	2	-	55	3	52	27	21	-	2	1	1	-
	100.0	21.8	78.2	40.0	32.7	-	-	1.8	3.6	-	100.0	5.5	94.5	49.1	38.2	-	3.6	1.8	1.8	-
ひとり親を含む世帯	482	53	418	240	150	2	6	3	17	11	482	14	455	272	146	2	10	6	19	13
	100.0	11.0	86.7	49.8	31.1	0.4	1.2	0.6	3.5	2.3	100.0	2.9	94.4	56.4	30.3	0.4	2.1	1.2	3.9	2.7
母子世帯	482	53	418	240	150	2	6	3	17	11	482	14	455	272	146	2	10	6	19	13
	100.0	11.0	86.7	49.8	31.1	0.4	1.2	0.6	3.5	2.3	100.0	2.9	94.4	56.4	30.3	0.4	2.1	1.2	3.9	2.7
母子のみの世帯	395	46	339	194	125	1	5	3	11	10	395	11	372	224	121	-	9	6	12	12
	100.0	11.6	85.8	49.1	31.6	0.3	1.3	0.8	2.8	2.5	100.0	2.8	94.2	56.7	30.6	-	2.3	1.5	3.0	3.0
その他	86	7	78	46	24	1	1	-	6	1	86	3	82	48	24	2	1	-	7	1
	100.0	8.1	90.7	53.5	27.9	1.2	1.2	-	7.0	1.2	100.0	3.5	95.3	55.8	27.9	2.3	1.2	-	8.1	1.2
無回答	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-

第3章 子育てに関して感じること
3-250 子育て期における相談窓口

	c 子供家庭支援センター										d 子育てひろば（保育所・児童館等）									
	総数	利用したことがある	利用したことがない	知らなかったから	必要なかったから	利用しにくかったから	地域になかったから	その他	無回答	無回答	総数	利用したことがある	利用したことがない	知らなかったから	必要なかったから	利用しにくかったから	地域になかったから	その他	無回答	無回答
総数	3,699	580	3,069	1,264	1,561	88	29	11	116	50	3,699	2,269	1,387	344	853	106	7	26	51	43
	100.0	15.7	83.0	34.2	42.2	2.4	0.8	0.3	3.1	1.4	100.0	61.3	37.5	9.3	23.1	2.9	0.2	0.7	1.4	1.2
両親に育てられている世帯	3,217	510	2,670	1,077	1,384	78	23	9	99	37	3,217	2,059	1,128	247	717	93	4	23	44	30
	100.0	15.9	83.0	33.5	43.0	2.4	0.7	0.3	3.1	1.2	100.0	64.0	35.1	7.7	22.3	2.9	0.1	0.7	1.4	0.9
養育者が父母である世帯	3,158	501	2,620	1,057	1,358	76	23	8	98	37	3,158	2,020	1,108	242	707	89	4	22	44	30
	100.0	15.9	83.0	33.5	43.0	2.4	0.7	0.3	3.1	1.2	100.0	64.0	35.1	7.7	22.4	2.8	0.1	0.7	1.4	0.9
養育者のうち少なくとも一方が父母以外である世帯	4	2	2	1	-	-	-	1	-	-	4	2	2	-	-	1	-	1	-	-
	100.0	50.0	50.0	25.0	-	-	-	25.0	-	-	100.0	50.0	50.0	-	-	25.0	-	25.0	-	-
不明	55	7	48	19	26	2	-	-	1	-	55	37	18	5	10	3	-	-	-	-
	100.0	12.7	87.3	34.5	47.3	3.6	-	-	1.8	-	100.0	67.3	32.7	9.1	18.2	5.5	-	-	-	-
ひとり親を含む世帯	482	70	399	187	177	10	6	2	17	13	482	210	259	97	136	13	3	3	7	13
	100.0	14.5	82.8	38.8	36.7	2.1	1.2	0.4	3.5	2.7	100.0	43.6	53.7	20.1	28.2	2.7	0.6	0.6	1.5	2.7
母子世帯	482	70	399	187	177	10	6	2	17	13	482	210	259	97	136	13	3	3	7	13
	100.0	14.5	82.8	38.8	36.7	2.1	1.2	0.4	3.5	2.7	100.0	43.6	53.7	20.1	28.2	2.7	0.6	0.6	1.5	2.7
母子のみの世帯	395	60	324	151	148	9	4	2	10	11	395	173	211	74	115	11	3	3	5	11
	100.0	15.2	82.0	38.2	37.5	2.3	1.0	0.5	2.5	2.8	100.0	43.8	53.4	18.7	29.1	2.8	0.8	0.8	1.3	2.8
その他	86	10	74	36	28	1	2	-	7	2	86	37	47	23	20	2	-	-	2	2
	100.0	11.6	86.0	41.9	32.6	1.2	2.3	-	8.1	2.3	100.0	43.0	54.7	26.7	23.3	2.3	-	-	2.3	2.3
無回答	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-

第3章 子育てに関して感じること
3-250 子育て期における相談窓口

	e 保健所・保健センター									f 民生・児童委員（主任児童委員）								
	総数	利用したことがある	利用したことがない	知らなかったから	必要なかったから	利用しにくかったから	その他	無回答	無回答	総数	利用したことがある	利用したことがない	知らなかったから	必要なかったから	利用しにくかったから	その他	無回答	無回答
総数	3,699 100.0	1,929 52.1	1,724 46.6	372 10.1	1,193 32.3	79 2.1	11 0.3	69 1.9	46 1.2	3,699 100.0	152 4.1	3,495 94.5	1,242 33.6	1,974 53.4	104 2.8	10 0.3	165 4.5	52 1.4
両親に育てられている世帯	3,217 100.0	1,711 53.2	1,474 45.8	304 9.4	1,034 32.1	67 2.1	9 0.3	60 1.9	32 1.0	3,217 100.0	124 3.9	3,056 95.0	1,067 33.2	1,750 54.4	87 2.7	7 0.2	145 4.5	37 1.2
養育者が父母である世帯	3,158 100.0	1,677 53.1	1,449 45.9	297 9.4	1,020 32.3	66 2.1	8 0.3	58 1.8	32 1.0	3,158 100.0	119 3.8	3,002 95.1	1,047 33.2	1,722 54.5	87 2.8	6 0.2	140 4.4	37 1.2
養育者のうち少なくとも一方が父母以外である世帯	4 100.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	-	-	1 25.0	-	-	4 100.0	-	4 100.0	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-
不明	55 100.0	32 58.2	23 41.8	6 10.9	14 25.5	1 1.8	-	2 3.6	-	55 100.0	5 9.1	50 90.9	18 32.7	27 49.1	-	-	5 9.1	-
ひとり親を含む世帯	482 100.0	218 45.2	250 51.9	68 14.1	159 33.0	12 2.5	2 0.4	9 1.9	14 2.9	482 100.0	28 5.8	439 91.1	175 36.3	224 46.5	17 3.5	3 0.6	20 4.1	15 3.1
母子世帯	482 100.0	218 45.2	250 51.9	68 14.1	159 33.0	12 2.5	2 0.4	9 1.9	14 2.9	482 100.0	28 5.8	439 91.1	175 36.3	224 46.5	17 3.5	3 0.6	20 4.1	15 3.1
母子のみの世帯	395 100.0	179 45.3	204 51.6	53 13.4	134 33.9	10 2.5	2 0.5	5 1.3	12 3.0	395 100.0	26 6.6	355 89.9	135 34.2	190 48.1	12 3.0	3 0.8	15 3.8	14 3.5
その他	86 100.0	39 45.3	45 52.3	15 17.4	24 27.9	2 2.3	-	4 4.7	2 2.3	86 100.0	2 2.3	83 96.5	40 46.5	33 38.4	5 5.8	-	5 5.8	1 1.2
無回答	1 100.0	-	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-

第4章 地域における子育て

1 子育てをしていく上で整備してほしいもの〔複数回答〕

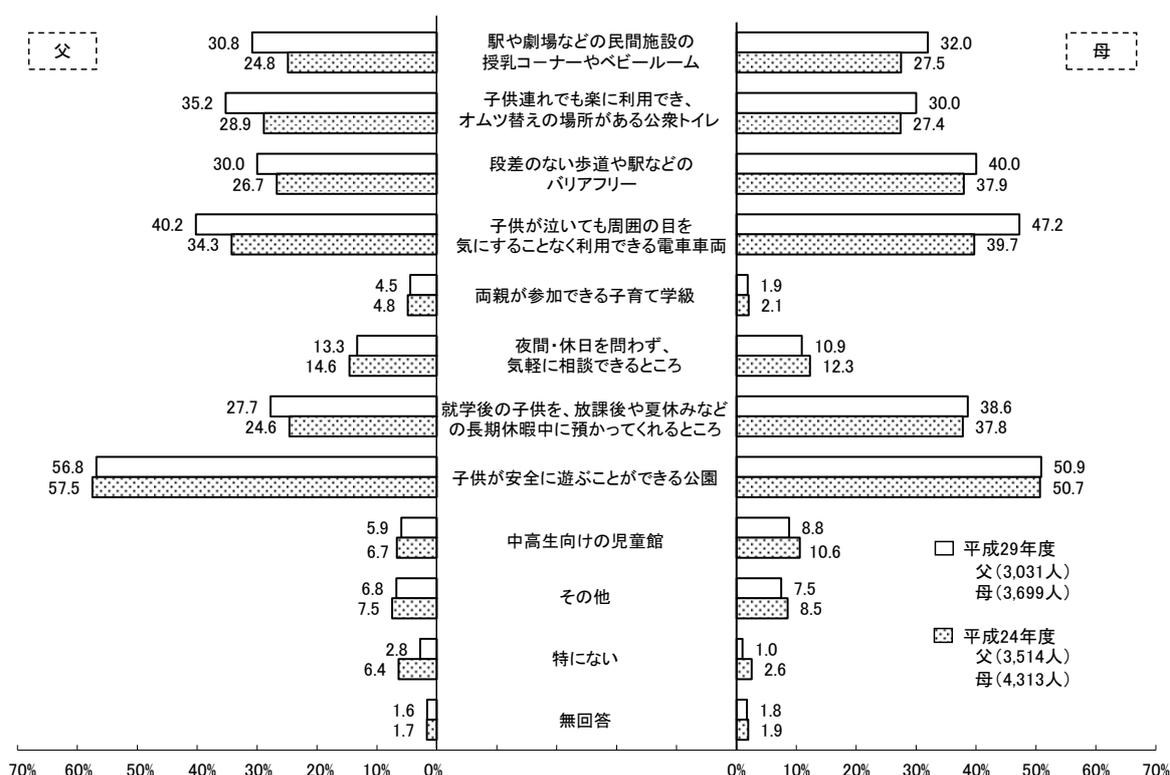
(1) 子育てをしていく上で整備してほしいもの〔複数回答〕－24年度調査との比較

父母ともに、「子供が安全に遊ぶことができる公園」の割合が最も高い

対象者全員に子育てをしていく上で、又はこれまで子育てしてきた経験から、整備してほしいものは何かを聞いたところ、父母ともに、「子供が安全に遊ぶことができる公園」の割合が最も高くなっている（56.8%、50.9%）。

「子供が泣いても周囲の目を気にすることなく利用できる電車車両」の割合は、父が40.2%、母は47.2%で、24年度調査（34.3%、39.7%）からそれぞれ5.9ポイント、7.5ポイント高くなっている。（図Ⅲ-4-1）

図Ⅲ-4-1 子育てをしていく上で整備してほしいもの〔複数回答〕－24年度調査との比較



第4章 地域における子育て

4-10 子育てのために整備してほしいもの〔複数回答〕(母)—世帯類型(母子・父子世帯別)

	総数	駅や ベビー ルーム などの 民間施設 の授乳 コーナー	子供連 れでも 楽に利 用でき 、オム ツ替え	段差の ない歩 道や駅 などの バリア フリー	子供が 泣いて も周囲 の目を 気にす る	両親が 参加で きる子 育て学 級	夜間・ 休日を 問わず 、気軽 に相談 できる ところ	就学後 の子供 を、放 課後や 夏休み などの 長期休 暇中に 預かっ てくれ るところ	子供が 安全に 遊ぶこ とので きる公 園	中高生 向けの 児童館	その他	特にな い	無回 答
総数	3,699 100.0	1,182 32.0	1,110 30.0	1,480 40.0	1,747 47.2	69 1.9	404 10.9	1,429 38.6	1,882 50.9	325 8.8	276 7.5	38 1.0	65 1.8
両親に育てられている世帯	3,217 100.0	1,092 33.9	989 30.7	1,341 41.7	1,547 48.1	61 1.9	316 9.8	1,213 37.7	1,660 51.6	242 7.5	246 7.6	23 0.7	56 1.7
養育者が父母である世帯	3,158 100.0	1,072 33.9	972 30.8	1,317 41.7	1,526 48.3	60 1.9	311 9.8	1,194 37.8	1,632 51.7	237 7.5	240 7.6	22 0.7	52 1.6
養育者のうち少なくとも一方が父母以外である世帯	4 100.0	3 75.0	3 75.0	-	1 25.0	-	3 75.0	-	-	-	1 25.0	-	-
不明	55 100.0	17 30.9	14 25.5	24 43.6	20 36.4	1 1.8	2 3.6	19 34.5	28 50.9	5 9.1	5 9.1	1 1.8	4 7.3
ひとり親を含む世帯	482 100.0	90 18.7	121 25.1	139 28.8	200 41.5	8 1.7	88 18.3	216 44.8	222 46.1	83 17.2	30 6.2	15 3.1	9 1.9
母子世帯	482 100.0	90 18.7	121 25.1	139 28.8	200 41.5	8 1.7	88 18.3	216 44.8	222 46.1	83 17.2	30 6.2	15 3.1	9 1.9
母子のみの世帯	395 100.0	72 18.2	100 25.3	107 27.1	165 41.8	8 2.0	74 18.7	186 47.1	172 43.5	65 16.5	25 6.3	12 3.0	9 2.3
その他	86 100.0	18 20.9	20 23.3	32 37.2	35 40.7	-	14 16.3	29 33.7	49 57.0	18 20.9	5 5.8	3 3.5	-
無回答	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-

第4章 地域における子育て

4-66 参加したことがある子育て活動〔複数回答〕(母)―世帯類型(母子・父子世帯別)別

	総数	過去1年間に参加したことがある	親子が共に参加できる活動やプログラム	親同士の交流の機会やグループ活動(母親クラブなど)	子供を保育しあったりするグループ活動	その他	参加したものはない	無回答
総数	3,699 100.0	1,480 40.0	1,312 35.5	428 11.6	68 1.8	47 1.3	2,082 56.3	137 3.7
両親に育てられている世帯	3,217 100.0	1,377 42.8	1,233 38.3	393 12.2	65 2.0	41 1.3	1,738 54.0	102 3.2
養育者が父母である世帯	3,158 100.0	1,353 42.8	1,211 38.3	384 12.2	63 2.0	40 1.3	1,708 54.1	97 3.1
養育者のうち少なくとも一方が父母以外である世帯	4 100.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	- -	1 25.0	- -
不明	55 100.0	21 38.2	19 34.5	7 12.7	- -	1 1.8	29 52.7	5 9.1
ひとり親を含む世帯	482 100.0	103 21.4	79 16.4	35 7.3	3 0.6	6 1.2	344 71.4	35 7.3
母子世帯	482 100.0	103 21.4	79 16.4	35 7.3	3 0.6	6 1.2	344 71.4	35 7.3
母子のみの世帯	395 100.0	80 20.3	60 15.2	30 7.6	3 0.8	4 1.0	285 72.2	30 7.6
その他	86 100.0	23 26.7	19 22.1	5 5.8	- -	2 2.3	58 67.4	5 5.8
無回答	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -

(2) 児童虐待の防止策〔複数回答〕－世帯類型（母子・父子世帯）別

両親世帯、ひとり親世帯ともに、「身近な地域で子供や家族を見守る仕組みをつくる」の割合が最も高い

児童虐待を防ぐ社会的な働きかけの中で大切だと思うことを世帯類型（母子・父子世帯）別にみると、両親世帯、ひとり親世帯ともに、「身近な地域で子供や家族を見守る仕組みをつくる」の割合が最も高くなっている（38.0%、32.4%）。

また、「子育ての不安やストレスを解消するための相談や交流の場などを整備する」の割合は、両親世帯が30.2%、ひとり親世帯は25.1%で、両親世帯の方が5.1ポイント高くなっている。一方、「虐待されていると思われる子供を発見した人は通告する義務があることをPRする」の割合は、ひとり親世帯が30.0%、両親世帯は23.6%で、ひとり親世帯の方が6.4ポイント高くなっている。（表Ⅲ-4-10）

表Ⅲ-4-10 児童虐待の防止策〔複数回答〕－世帯類型（母子・父子世帯）別

	総数	身近な地域で子供や家族を見守る仕組みをつくる	子育て支援サービスなどを充実する	児童の養育者などへの相談・支援を充実する	子育ての不安やストレスを解消するための相談や交流の場などを整備する	虐待されていると思われる子供を発見した人は通告する義務があることをPRする	虐待されている子供が相談できる電話や窓口があることをPRする	児童相談所や子供家庭支援センターなどの相談機能充実する	緊急の受入体制を充実する	その他	無回答
総数	100.0 (6,730)	37.6	23.0	15.5	29.8	24.1	17.6	12.3	16.1	5.2	3.7
両親世帯	100.0 (6,193)	<u>38.0</u>	23.3	15.4	<u>30.2</u>	<u>23.6</u>	17.3	12.4	15.5	5.3	3.6
ひとり親世帯	100.0 (537)	<u>32.4</u>	19.4	16.4	<u>25.1</u>	<u>30.0</u>	21.4	11.2	22.5	3.5	3.7
母子世帯	100.0 (482)	32.0	20.5	16.6	25.5	31.1	21.0	11.2	23.4	3.3	2.7
父子世帯	100.0 (55)	36.4	9.1	14.5	21.8	20.0	25.5	10.9	14.5	5.5	12.7

第4章 地域における子育て

4-114 児童虐待の防止策〔複数回答〕(母)―世帯類型(母子・父子世帯別)別

	総数	身近な地域で子供や家族を見守る	子育て支援サービスなどを充実する	児童の養育者などへの相談・支援を充実する	子育ての不安やストレスを解消するための相談や交流の場などを整備する	虐待されていると思われる子供を発見した人は通告する義務があることをPRする	虐待されている子供が相談できる電話や窓口があることをPRする	児童相談所や子供家庭支援センターなどの相談機能の機能を充実する	緊急の受入体制を充実する	その他	無回答
総数	3,699 100.0	1,331 36.0	873 23.6	645 17.4	1,182 32.0	809 21.9	647 17.5	465 12.6	619 16.7	172 4.6	128 3.5
両親に育てられている世帯	3,217 100.0	1,177 36.6	774 24.1	565 17.6	1,059 32.9	659 20.5	546 17.0	411 12.8	506 15.7	156 4.8	115 3.6
養育者が父母である世帯	3,158 100.0	1,155 36.6	759 24.0	552 17.5	1,045 33.1	649 20.6	534 16.9	405 12.8	497 15.7	153 4.8	111 3.5
養育者のうち少なくとも一方が父母以外である世帯	4 100.0	2 50.0	-	-	1 25.0	-	1 25.0	-	2 50.0	-	1 25.0
不明	55 100.0	20 36.4	15 27.3	13 23.6	13 23.6	10 18.2	11 20.0	6 10.9	7 12.7	3 5.5	3 5.5
ひとり親を含む世帯	482 100.0	154 32.0	99 20.5	80 16.6	123 25.5	150 31.1	101 21.0	54 11.2	113 23.4	16 3.3	13 2.7
母子世帯	482 100.0	154 32.0	99 20.5	80 16.6	123 25.5	150 31.1	101 21.0	54 11.2	113 23.4	16 3.3	13 2.7
母子のみの世帯	395 100.0	128 32.4	77 19.5	64 16.2	106 26.8	120 30.4	86 21.8	46 11.6	90 22.8	12 3.0	10 2.5
その他	86 100.0	25 29.1	22 25.6	16 18.6	17 19.8	30 34.9	15 17.4	8 9.3	22 25.6	4 4.7	3 3.5
無回答	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-